

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180566011001	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Subject	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
科目分類 / Class type	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Target students	教育学部の中学校専攻と特別支援専攻と幼稚園専攻		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kazuikeya nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部本館609研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日の4校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	憲法の基本事項を理解し、実生活と関連づけて捉えられることが出来るような授業を行う。		
授業到達目標/Course goals	今後の人生や就職に役立つような憲法の知識を身に付けさせること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	毎回のレポートの合計により成績評価		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	憲法		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	・教科書: 芦部信喜『憲法第六版』岩波書店 ・六法(出版社は問わない)も持参すること		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	4/5以上の出席が必須		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	教科書の該当部分を事前に予習した上で、それに関連した事柄について情報収集(テレビや新聞を見る、家族や友人と話をする等)をし、自ら日常生活に則して憲法を考えるように心がけておけば、レポートが書きやすくなります。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		

第 2 回	憲法の基礎
第 3 回	国民主権と天皇制
第 4 回	平和主義
第 5 回	基本的人権の基礎
第 6 回	包括的基本権と法の下の平等
第 7 回	精神的自由権 ( 1 )
第 8 回	精神的自由権 ( 2 )
第 9 回	経済的自由権
第 1 0 回	人身の自由・国務請求権・参政権
第 1 1 回	社会権
第 1 2 回	国会
第 1 3 回	内閣
第 1 4 回	裁判所
第 1 5 回	家庭裁判所

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180566011002	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Subject	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	井田 洋子 / Ida Youko		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	井田 洋子 / Ida Youko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	井田 洋子 / Ida Youko		
科目分類 / Class type	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Target students	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	smile nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日授業後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	国の根本規範としての憲法の実在意義ならびに基本原理(普遍的価値とされる基本的人権の尊重・国民主権・権力分立・違憲立法審査制と、日本独自の価値である象徴天皇制と絶対的戦争放棄)を、歴史的、比較法的視点を踏まえ、具体的事例を参考にしながら考察する。		
授業到達目標/Course goals	受講生が、 A 憲法の基本概念を理解すること、 B 主権者としての自覚をもち、憲法をめぐる問題を自身の問題として捉え、考えるようになること、 C 日本社会だけでなく国際社会の問題に目をむけるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	(レポート2回、各25点×2) + 定期試験50点 = 100点		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	立憲主義、民主主義、国民主権、基本的人権、個人の尊重、		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	【テキスト】日本語：大隈義和・大江正昭『憲法学へのいざない第3版』青林書院 英語：特になし 【参考文献】 前半・後半共通『ポケット六法』有斐閣等、いずれかの六法書 後半『世界憲法集』岩波書店		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	新聞やテレビ等で日々のニュースに触れ、国内外の状況に通じていることが、この授業を理解する上で有益である。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	憲法とはなにか 基本概念の把握－国家、民主主義、立憲主義、法治国家等
第2回	憲法制定過程と2つの天皇制
第3回	国民主権と選挙制度
第4回	法の下での平等
第5回	信教の自由と政教分離
第6回	表現の自由 1
第7回	表現の自由 2
第8回	人身の自由
第9回	社会権
第10回	外国人の人権
第11回	国家権力の構造?立法権と行政権の関係
第12回	司法権
第13回	憲法9条と戦争放棄 1
第14回	憲法9条と戦争放棄 2
第15回	憲法改正問題
第16回	試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/05/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180566011003	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Subject	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
科目分類 / Class type	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Target students	全学部 of 学生 (教育学部の1年生を除く)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kazuikeya@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	教育学部本館609研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日の4校時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	憲法の基本事項を理解し、実生活と関連づけて捉えられることが出来るような授業を行う。		
授業到達目標 / Course goals	今後の人生や就職に役立つような憲法の知識を身に付けさせること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	毎回のレポートの合計により成績評価		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	憲法		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	・教科書: 芦部信喜『憲法第六版』岩波書店 ・六法 (出版社は問わない) も持参すること		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	授業は2コマ連続で行われます。 初日 (第1回と第2回) の講義を受講していない学生は、単位は取れません。 その上で、4/5以上の出席が必須		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	教科書の該当部分を事前に予習した上で、それに関連した事柄について情報収集 (テレビや新聞を見る、家族や友人と話をする等) をし、自ら日常生活に則して憲法を考えるように心がけておけば、レポートが書きやすくなります。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	憲法の基礎
第 3 回	国民主権と天皇制
第 4 回	平和主義
第 5 回	基本的人権の基礎
第 6 回	包括的基本権と法の下での平等
第 7 回	精神的自由権 ( 1 )
第 8 回	精神的自由権 ( 2 )
第 9 回	経済的自由権
第 1 0 回	人身の自由・国務請求権・参政権
第 1 1 回	社会権
第 1 2 回	国会
第 1 3 回	内閣
第 1 4 回	裁判所
第 1 5 回	家庭裁判所

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/05/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180566011004	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Subject	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Class type	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	条文と基本概念、主要な裁判例を検討しながら憲法を学ぶ		
授業到達目標/Course goals	憲法が何を定めているのか、自分とどのような関わりがあるのかを理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	定期試験 (70%) と小テスト (30%) による		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	憲法の条文を読むこと。国立国会図書館のサイトより印刷可能。 <a href="http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html">http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html</a>		
キーワード/Key word	憲法		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 伊藤正己『憲法入門 (第4版補訂版)』有斐閣双書 参考書: 野中俊彦ほか『憲法判例集 (第11版)』有斐閣新書 その他: 条文は毎回持参すること。国立国会図書館のサイトより印刷可能。 <a href="http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html">http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html</a>		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識を関連づけるよう心がけてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	法とは何か、憲法とその他の法律		
第2回	国民主権 1		

第 3 回	国民主権 2
第 4 回	平和国家
第 5 回	基本的人権の保障 1 人権の基礎
第 6 回	基本的人権の保障 2 法の下での平等
第 7 回	基本的人権の保障 3 自由権 1
第 8 回	基本的人権の保障 4 自由権 2
第 9 回	基本的人権の保障 5 自由権 3
第 10 回	基本的人権の保障 6 社会権
第 11 回	権力分立 1 国会
第 12 回	権力分立 2 内閣
第 13 回	権力分立 3 裁判所
第 14 回	憲法の保障、国法の形式
第 15 回	総復習
第 16 回	定期試験



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/06/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180566011005	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Subject	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Class type	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	条文と基本概念、主要な裁判例を検討しながら憲法を学ぶ		
授業到達目標/Course goals	憲法が何を定めているのか、自分とどのような関わりがあるのかを理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	定期試験 (70%) と小テスト (30%) による		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	憲法の条文を読むこと。国立国会図書館のサイトより印刷可能。 <a href="http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html">http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html</a>		
キーワード/Key word	憲法		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 伊藤正己『憲法入門 (第4版補訂版)』有斐閣双書 参考書: 野中俊彦ほか『憲法判例集 (第11版)』有斐閣新書 その他: 条文は毎回持参すること。国立国会図書館のサイトより印刷可能。 <a href="http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html">http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html</a>		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識を関連づけるよう心がけてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	法とは何か、憲法とその他の法律		
第2回	国民主権 1		

第 3 回	国民主権 2
第 4 回	平和国家
第 5 回	基本的人権の保障 1 人権の基礎
第 6 回	基本的人権の保障 2 法の下での平等
第 7 回	基本的人権の保障 3 自由権 1
第 8 回	基本的人権の保障 4 自由権 2
第 9 回	基本的人権の保障 5 自由権 3
第 10 回	基本的人権の保障 6 社会権
第 11 回	権力分立 1 国会
第 12 回	権力分立 2 内閣
第 13 回	権力分立 3 裁判所
第 14 回	憲法の保障、国法の形式
第 15 回	総復習
第 16 回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180566011006	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Subject	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Class type	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	条文と基本概念、主要な裁判例を検討しながら憲法を学ぶ		
授業到達目標/Course goals	憲法が何を定めているのか、自分とどのような関わりがあるのかを理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	定期試験 (70%) と小テスト (30%) による		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 )/ Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	憲法の条文を読むこと。国立国会図書館のサイトより印刷可能。 <a href="http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html">http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html</a>		
キーワード/Key word	憲法		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 伊藤正己『憲法入門 (第4版補訂版)』有斐閣双書 参考書: 野中俊彦ほか『憲法判例集 (第11版)』有斐閣新書 その他: 条文は毎回持参すること。国立国会図書館のサイトより印刷可能。 <a href="http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html">http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html</a>		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識を関連づけるよう心がけてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	法とは何か、憲法とその他の法律		
第2回	国民主権 1		

第 3 回	国民主権 2
第 4 回	平和国家
第 5 回	基本的人権の保障 1 人権の基礎
第 6 回	基本的人権の保障 2 法の下での平等
第 7 回	基本的人権の保障 3 自由権 1
第 8 回	基本的人権の保障 4 自由権 2
第 9 回	基本的人権の保障 5 自由権 3
第 10 回	基本的人権の保障 6 社会権
第 11 回	権力分立 1 国会
第 12 回	権力分立 2 内閣
第 13 回	権力分立 3 裁判所
第 14 回	憲法の保障、国法の形式
第 15 回	総復習
第 16 回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/06/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180568003001	科目番号 / Subject code	05680030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 15011_003		
授業科目名 / Subject	物理学 / Physical Science		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
科目分類 / Class type	自然科学科目, 自由選択科目, 自然科学科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Target students	anyone		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ymat nagasaki-u.ac.jp (change to @ when you send e-mail)		
担当教員研究室/Instructor office	Engineering Building 2, E509		
担当教員TEL/Tel	095-819-2540		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Please inquire by e-mail.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	Knowledge of physics is indispensable not only for understanding the nature, but also for living one's daily life. It is important to reason logically and express accurately in the social life. By learning physics, we can acquire logical thinking and expression with abstract concepts, and develop a clear sense of perspective. This course is a subject to acquire the minimum knowledge of physics necessary for science teachers.		
授業到達目標/Course goals	1. Understand that physics exists in this world with a really rich spread and is closely related to our personal circumstances. 2. Learn the ability to think things logically and critically, and solve specific concrete physical problems using basic mathematics.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	Exercise & Report (30 points) and final examination (70 points). Pass mark: 60 points		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法 ) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	Prepare the lecture text before the lesson and to grasp the points that can not be understood beforehand. If you have any questions or problems you can not understand, ask questions in the class and settle as much as possible during class.		
キーワード / Key word	mechanics, electromagnetism		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Textbook: R. Abe, Essential Physics (Saiensu-sha, Co., Ltd. Publishers, 2002) ISBN4-7819-1028-9		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	None		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	For details, see LACS.
学生へのメッセージ/Message for students	Perfect attendance is recommended.
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
June 6, 5h	mechanics(velocity, acceleration)
June 6, 6h	mechanics(equation of motion)
June 13, 5h	mechanics(work, potential energy, kinetic energy, energy conservation)
June 13, 6h	mechanics(momentum, angular momentum, circular motion)
June 20, 5h	mechanics(rigid body, moment of inertia)
June 20, 6h	mechanics(summary)
June 27, 5h	electromagnetism(current, Joule heat, resistance, electric circuit)
June 27, 6h	electromagnetism(charge, electric field, potential)
July 4, 5h	electromagnetism(Gauss's law)
July 4, 6h	electromagnetism(potential)
July 11, 5h	electromagnetism(dielectrics, capacitor, dipole moment)
July 11, 6h	electromagnetism(magnetic field, magnetic flux density, Ampere's law)
July 18, 5h	electromagnetism(electromagnetic induction, inductance)
July 18, 6h	electromagnetism(Maxwell's equations, electromagnetic wave)
July 25, 5h	electromagnetism(summary)
July 25, 6h	Final Exam

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/06/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180568003001	科目番号 / Subject code	05680030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 15011_003		
授業科目名 / Subject	物理学 / Physical Science		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
科目分類 / Class type	自然科学科目, 自由選択科目, 自然科学科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Target students	全学年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ymat_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	工学部 2号館E509		
担当教員TEL/Tel	095-819-2540		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールで受け付ける。 ymat_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	自然の成り立ちや振る舞いを理解するだけでなく、日常生活を送る中で物理学の知識は欠かせない。社会生活における状況の理解・判断においても、ものごとを論理的に考え、的確に表現することは非常に重要である。物理学を学ぶことにより、私たちは論理的な思考法や抽象的な概念を用いた表現法を身に付けていくことができ、物事の本質を見抜く目を養うことができる。本科目は理科教員として必要な物理の最低限の知識を身につけるための科目である。		
授業到達目標/Course goals	1. 物理学が実に豊かな広がりを持ってこの世界の中に存在し私たちの身の回りの事柄に深く関係していることを理解する。 2. 物事を論理的・批判的に考える能力を身につけ、基本的な数学を用いて個別の具体的な物理問題を解ける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	積極的参加状況と演習課題 (30点) および最終試験 (70点) の合計で評価する。100点満点で60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の授業の前に講義テキストを予習し、理解できない点を事前に把握しておくこと。疑問点や理解できない点があれば、授業の中で質問し、できるかぎり授業中に解決すること。		
キーワード/Key word	力学、電磁気学		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 阿部龍蔵著, Essential 物理学 (サイエンス社、新物理学ライブラリ別巻1) ISBN4-7819-1028-9 参考書: 大学教養レベルの物理テキストなら何でも良いので、授業と並行して複数冊を読むと良い。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	LACSを利用する。
学生へのメッセージ/Message for students	全回出席を原則とする。やむを得ず欠席する場合は事前に電子メールで担当教員に連絡すること。板書と演習を中心に授業を行うので、講義ノートをしっかり作ってください。内容を理解するコツは、とにかくたくさん書くことです。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
June 6, 5h	力学(速度、加速度などを理解する)
June 6, 6h	力学(運動方程式などを理解する)
June 13, 5h	力学(仕事、ポテンシャル、エネルギーなどを理解する)
June 13, 6h	力学(運動量、角運動量などを理解する)
June 20, 5h	力学(剛体の運動、慣性モーメントなどを理解する)
June 20, 6h	力学(力学全体の総括)
June 27, 5h	電磁気学(電流、ジュール熱、抵抗、電気回路などを理解する)
June 27, 6h	電磁気学(電荷、電場、電気力などを理解する)
July 4, 5h	電磁気学(ガウスの法則を理解する)
July 4, 6h	電磁気学(電位などを理解する)
July 11, 5h	電磁気学(誘電体、キャパシタ、電気双極子などを理解する)
July 11, 6h	電磁気学(電流と磁場、磁束密度、アンペールの法則などを理解する)
July 18, 5h	電磁気学(電磁誘導、インダクタンスなどを理解する)
July 18, 6h	電磁気学(Maxwellの方程式の意味を理解し、電磁波の性質などを理解する)
July 25, 5h	電磁気学(電磁気学全体の総括)
July 25, 6h	定期試験



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/05/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180569000701	科目番号 / Subject code	05690007
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11311_001		
授業科目名 / Subject	解放講座 / On Social Leveling		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
科目分類 / Class type	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	scykf338 yahoo (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	9045868939		
担当教員オフィスアワー/Office hours	scykf338@yahoo		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	21世紀は人権の世紀といわれる。本講座は、人権の意味を正しく理解し、部落問題やアイヌ、ハンセン病、コリアン、セクシュアルマイノリティ、冤罪事件等の人権問題と向き合う力をつけることを目的とする。		
授業到達目標/Course goals	上記の人権問題について、 ①知識として獲得する、 A他人に話せる力をつける、 B解決のために何ができるのかを議論できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	中間レポート(30)、授業毎のふり返り用紙(20)、最終レポート(50)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	関連する書籍、新聞記事等を参照してください。		
キーワード/Key word	知識・スキル・態度・行動		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業ごとに資料を配布します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	ネット社会にはさまざまな情報が飛び交います。フェイクという言葉があるように、これからは、情報をいかに判断できるのかが問われてきます。人権問題については特に、正確な知識が必要とされます。学生の皆さんに、授業を通してこのような力を身に付けて欲しいと願います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

1 4月11日	人権に関する意識調査 「人の優しいところ、気になるところ」街図を使った「人権」探し どんな人権問題か、関連する法律や条約を見つける。
2 4月11日	今なぜ人権教育か？（ワークショップ） 世界人権宣言にある30の権利
3 4月18日	部落問題と人権
4 4月18日	教科書から土農工商が消えた？（前編）
5 4月25日	教科書から土農工商が消えた？（後編）
6 4月25日	セクシュアルマイノリティと人権
7 5月2日	在日外国人と人権（前編）
8 5月2日	在日外国人と人権（後編）
9 5月9日	アイヌ問題と人権
10 5月9日	読書感想文提出 （ワークショップ）
11 5月16日	ハンセン病と人権
12 5月16日	冤罪事件について 藤澤秀雄
13 5月23日	人権問題の解決のためのプログラム（前編）
14 5月23日	人権問題の解決のためのプログラム（後編）
15 5月30日	人権問題の解決のためのワークショップ

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/21		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180569000702	科目番号 / Subject code	05690007
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11311_001		
授業科目名 / Subject	解放講座 / On Social Leveling		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
科目分類 / Class type	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	scykf338 yahoo (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	9045868939		
担当教員オフィスアワー/Office hours	scykf338@yahoo		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	21世紀は人権の世紀といわれる。本講座は、人権の意味を正しく理解し、部落問題やアイヌ、ハンセン病、コリアンセクシュアルマイノリティ、冤罪事件等の人権問題と向き合う力をつけることを目的とする。		
授業到達目標/Course goals	上記の人権問題について、 ①知識として獲得する、 A他人に話せる力をつける、 B解決のために何ができるのかを議論できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading			
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法 )/ Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	関連する書籍、新聞等を参照してください。		
キーワード / Key word	知識・スキル・態度・行動		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業ごとにプリントを配布します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	ネット社会には様々な情報が飛び交います。フェイクという言葉があるように、これからは、情報をいかに判断できるのかが問われています。人権問題については特に、正確な知識が必要とされます。学生の皆さんに、授業を通してこのような力をつけてほしいと思います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		

1 10月3日	人権に関する意識調査 「人の優しいところ、気になるところ」街図を使った「人権」探し どんな人権問題か、関連する法律や条約を見つける。
2 10月3日	今なぜ人権教育か？（ワークショップ） 世界人権宣言にある30の権利。
3 10月10日	部落問題と人権
4 10月10日	教科書から土農工商が消えた？（前編）
5 10月17日	教科書から土農工商が消えた？（後編）
6 10月17日	セクシュアルマイノリティと人権
7 10月24日	在日外国人と人権（前編）
8 10月24日	在日外国人と人権（後編）
9 10月31日	アイヌ問題と人権
10 10月31日	読書感想文提出 （ワークショップ）
11 11月7日	ハンセン病と人権
12 11月7日	冤罪事件について 藤澤秀雄
13 11月14日	人権問題の解決に向けたプログラム（前編）
14 11月14日	人権問題の解決に向けたプログラム（後編）
15 11月21日	人権問題の解決に向けたワークショップ

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180569001101	科目番号 / Subject code	05690011
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11611_001		
授業科目名 / Subject	全学乗船実習 / Training Cruise for General Students		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	清水 健一 / Shimizu Kenichi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	清水 健一 / Shimizu Kenichi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	清水 健一 / Shimizu Kenichi		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kshimizu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	水産学部本館3階 (A-94)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2805		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木・金の午後3時以降		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	水産業は、長崎の主産業の一つである。附属練習船長崎丸に乗船して航海を体験することにより、海洋環境や海洋生態系、あるいはそれらと人間の営みを肌で感じ、より深く理解すると共に、異分野の学生が船内生活を通して、通常のキャンパスライフでは困難なコミュニケーション能力、多角的視点、協調性などを修養する。		
授業到達目標/Course goals	海洋および船舶に慣れ、親しみ、航海・運用術、海洋観測の基礎的実習及び海・船・人間の関係について関わりを習得。また、船内での団体生活の体験により、協調性・寛容性を習得する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	実習への取り組み状況 70% レポート 30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前講義: 実習の目的・概要・船内注意事項・見学施設等、船、海洋観測、トロール操業等に関する基礎知識 事後講義 実習の総括、レポート課題等の説明等 ( ) 事前・事後講義 (於 文教キャンパス) および実習の日程は、別途通知する。		
キーワード/Key word	練習船・海洋実習・海洋観測		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	事前ガイダンス、船内ガイダンスの際に資料を配付する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	・受講定員は40名 (希望多数の場合は、抽選により受講者を決定する) ・受講者は、必ず傷害保険に加入すること。 ・受講にかかる費用として食費 (5日分) および陸上関連施設利用料 計8,000円程度が別途必要		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	洋上での貴重な体験をできるのでぜひ積極的に参加して欲しい		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1日目	船内ガイダンス(船内設備、注意事項、航海の概要等の説明) 海洋観測、トロール操業、非常配置表等の説明 ( ) 天候・海況によっては、実習の内容を大きく変更することがある。また、寄港地無しの場合もある
2日目	2日目 天候・海況により、①? Bのいずれかを実施 ① 海洋観測、トロール操業、漁獲物調査、ロープ結索練習(於 東シナ海) A 海洋観測、ロープ結索演習、操船実習、釣り実習 B 海洋観測、船の位置測定練習、ロープ結索演習、(於 位置測定が行える湾)
3日目	入港、陸上水産施設(水族館等)の見学 寄港地無しの場合には海洋観測、ロープ結索演習、操船実習、釣り実習、魚類の加工(干し物等の作成)等
4日目	陸上水産施設(魚市場等)の見学、出港 寄港地無しの場合には海洋観測、ロープ結索演習、操船実習、釣り実習、魚類の加工(干し物等の作成)等
5日目	下船時のガイダンス(予定、注意事項等の説明) 下船、大学にてレポート作成

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180569061401	科目番号 / Subject code	05690614
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12661_002		
授業科目名 / Subject	オランダの文化 / Dutch Culture		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 龍 / Yamashita Noboru		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Target students	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	noboru.y.nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	言語教育研究センター B-112		
担当教員TEL / Tel	095-819-2080		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	日本と北ヨーロッパの中心国の一つとして発展してきたオランダとの交流が江戸初期に長崎から始まり、その交流が現在まで400年以上続いています。この講義ではオランダの文化と歴史を中心に、北ヨーロッパの歴史的発展、または、長崎と深い関わりのある日蘭交流について、基本的な知識の修得と文化理解を目的とします。		
授業到達目標 / Course goals	オランダ・北ヨーロッパの文化と歴史、または、日蘭交流についての基本的な知識を修得します。なお、講義の理解度に応じて、課題内容の順番などを変更することがあります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	成績評価の方法・基準等 成績評価は、定期試験、または、レポート70%、授業中の提出物30%で行います		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	オランダの歴史		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教材 : プリント教材 毎回配布します。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	全回出席が原則		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	講義の内容をしっかりと聞き、渡された教材を予習・復習すれば、オランダや西欧の文化と歴史を広く、楽しく理解できるようになります。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	01. オランダの先史時代 02. ローマ時代 (紀元前57年 ? 紀元後500年) 03. 北ヨーロッパでのキリスト教の布教 04. カール大帝 (756 - 814)
第2回	05. ヘッペン・オッタ・フォーゴラ 文語の発展 06. フロリス5世 (1254 -1296) とホラント伯 (オランダ) の発展 ・ 英仏100年戦争 ・ 黒死病 (ペスト) 07. ハンザ同盟の貿易 (1356年 - 1450年)
第3回	08. エラスムスと人文主義 (1469 -1536) 09. カール5世 (1500-1558) ・ブルゴーニュ公爵領ネーデルランデン ・カール5世 ハブスブルグ領ネーデルランデン 10. 聖画像・偶像破壊 11a. オラニエ公ウィレム1世 (1533-1584) ・ネーデルランデンの反乱の始まり (80年戦争) (1568-1648)
第4回	11b. オラニエ公ウィレム1世 (1533-1584) ・ネーデルランデンの反乱の始まり (80年戦争) (1568-1648) 12. 7ネーデルランデン共和国時代 (1588 -1795) 13. 15・16世紀の美術
第5回	14. オランダ 東インド会社 (1602 ? 1799) 15. 平戸と出島 ・1609年 平戸オランダ商館創立 ・1641年 出島への移動
第6回	16. デ・ベームステル干拓地 (1612) 17. アムステルダム運河 (1613 ? 1662) 18. 公定オランダ語訳聖書 (1637)
第7回	19b. 黄金時代の芸術 (1602 ? 1672) 20. アトラス・マイオル大地図帳 (1662) 21. 黄金時代の学者たち 22. Zeehelden van de Gouden Eeuw 黄金時代の海の英雄たち
第8回	23. 災厄の年 24. 奴隷制 (1637 -1863)
第9回	25. Buitenhuizen in de 17e en 18e Eeuw 17・18世紀の別荘 26. バタビア共和国・バタビア連邦時代 (1795 ? 1806) ・De Bataafse Republiek バタビア共和国の樹立 (1795 ? 1801) ・Het Bataafs Gemenebest バタビア連邦の樹立 (1801 -1806)
第10回	27. Napoleon Bonaparte en de Nederlanden ナポレオン・ボナパルテとネーデルランデン ・Koninkrijk Holland ホラント王国時代 (1806 - 1810) ・Onderdeel van het Franse Keizersrijk フランス第一帝国時代 (1810 - 1813) 28. ネーデルランデン連合公国・ネーデルランデン連合王国時代 (1813-1830/39) ・1813年 Soevereïn Vorstendom der Verenigde Nederlanden ネーデルランデン連合公国の誕生 ・1815年 Verenigd Koninkrijk der Nederlanden ネーデルランデン連合王国の樹立 ・1830年 ベルギー独立宣言・独立戦争 ・1839年 ベルギー独立とネーデルランデン王国の誕生 (1830/1839) 29. Het Koninkrijk der Nederlanden ネーデルランデン王国 1839 ~ )
第11回	30. マクス・ハフェラーレ (1860) 31. 児童労働 32. アレッタ・ヤコブスと女性解放 33. フィンセント・ファン・ゴッホ (1853 ? 1890) 34. 第一次世界大戦 (1914 ? 1918)
第12回	35. デ・ステイル 36. 1920 - 1930年代 (第一次と第二次世界大戦の間の期間) 37a. 第二次世界大戦 オランダ
第13回	37b. 第二次世界大戦 オランダ領東インド 38. オランダ領東インドの独立 (1945 ? 1949) 39. 1975年 オランダ領スリナムの独立 40. 旧 オランダ領アンティル諸島 41. 1953年の大洪水とデルタ計画
第14回	現在のオランダ @ 政治・経済など
第15回	現在のオランダ A 養育・福祉・行事・食事など



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180569061501	科目番号 / Subject code	05690615
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12711_002		
授業科目名 / Subject	オランダの言語 / Dutch Language		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 龍 / Yamashita Noboru		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Target students	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noboruy nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	言語教育研究センター B-112		
担当教員TEL/Tel	09578192080		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	初級レベルのオランダ語入門講義です。授業には、視聴覚教材も使用し、より分かりやすく、より楽しくオランダ語を学習することで、オランダ文化への興味を喚起させることをねらいとしています。		
授業到達目標/Course goals	初級レベルのオランダ語ができるようになります。資料に示された約600語のオランダ語を修得します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	教材 : プリント教材 毎回配布します。成績評価の方法・基準等 成績評価は、定期試験70%、授業中の発表と提出物30%で行います。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	オランダ語、オランダ語入門		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教材プリント配布 CD ROM 100円		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	全回出席が原則。CD ROMは必ず購入すること。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	オランダ語という新しい言語を勉強する不安もありますが、15回の講義でオランダ語の基本をしっかりと、楽しく教えますので、是非挑戦してみてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	Les 1 'Hallo, ik heet Ronald'
第2回	Les 2 'Wat is uw naam?'
第3回	Les 3 'Woon je hier al lang?'
第4回	Les 4 'Aangenaam kennis te maken'
第5回	1 - 4 復習
第6回	Les 5a 'Mijn familie' Les 5b 'Hoe laat is het?'
第7回	Les 6 'Wat doe je vandaag?'
第8回	Les 7 'Een week heeft zeven dagen'
第9回	Les 8 'Een afspraakje'
第10回	5 - 8 復習
第11回	Les 9 'In een restaurant'
第12回	Les 10 'Spreek je Nederlands?'
第13回	Les 11a 'De weg vragen' Les 11b 'De weg vragen'
第14回	Les 12 'Boodschappen'
第15回	9 - 1 2 復習 講義まとめ

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/02/28		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588000101	科目番号 / Subject code	05880001
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11111_006		
授業科目名 / Subject	特別活動論 / Theory of Educational Special Activity		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤井 佑介 / Yusuke Fujii		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤井 佑介 / Yusuke Fujii		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤井 佑介 / Yusuke Fujii, 北浦 剛資 / Tsuyoshi Kitaura		
科目分類 / Class type	自由選択科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Target students	1年、2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-fujii nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部213		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	<p>学習指導要領の包括的理解と教育体験事例の分析によって教育実践力の高度化をめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領 (特別活動) の包括的な理解</li> <li>・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事の基本的な性格と教育的意義</li> <li>・特別活動の事例研究と探究</li> </ul>		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別活動 (ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事) の課題を明確にし、指導内容を構想することができる。</li> <li>・学習指導要領を包括的に理解することができる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話す・書く・調べる等、発表成果評価 30%</li> <li>・課題解決能力、グループでの協議・協働姿勢 30%</li> <li>・最終レポート 40%</li> </ul>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	文部科学省『高等学校学習指導要領』東山書房 2011年 『特別活動エッセンス～望ましい人間関係づくりのために』(花書院)		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	特別活動の概論
第2回	ホームルーム活動の目標（高等学校学習指導要領から考える）
第3回	ホームルーム活動の基本的な性格と教育的意義（高等学校学習指導要領から考える）
第4回	生徒会活動の目標（高等学校学習指導要領から考える）
第5回	生徒会活動の基本的な性格と教育的意義（高等学校学習指導要領から考える）
第6回	学校行事の目標（高等学校学習指導要領から考える）
第7回	学校行事の基本的な性格と教育的意義（高等学校学習指導要領から考える）
第8回	特別活動の事例研究（映画チェストから考える）
第9回	特別活動の事例研究（映画チェストから考える）
第10回	特別活動の指導原理とガイダンス機能
第11回	特別活動の内容の探求 ④（HR活動）
第12回	特別活動の内容の探求 A（生徒会活動）
第13回	特別活動の内容の探求 B（学校行事）
第14回	ジグソー学習によるグループ報告
第15回	全授業の総括 まとめ

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	土 / Sat 1, 土 / Sat 2, 土 / Sat 3, 土 / Sat 4, 日 / Sun 1, 日 / Sun 2, 日 / Sun 3, 日 / Sun 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/02/28		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588000401	科目番号 / Subject code	05880004
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11161_006		
授業科目名 / Subject	教育方法・技術論 / Methodology and Techniques Of Education		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
科目分類 / Class type	自由選択科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wknhrtk nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	学習者の立場に立った教材開発のあり方、教材提示の方法、授業実践と教育方法などについて学習する。特に、コンピュータ等の教育メディアの利用、情報通信技術の利用について、最近の動向を踏まえた事例の紹介などを行う。また、実際に教育コンテンツを作成することで教育に必要な情報技術を修得し、ICT活用指導力を身につける。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育工学的な視点から、授業を構成する要素を列挙でき、また、各要素の特徴を理論的な背景を踏まえて説明できる。(基礎的知識を身につける)</li> <li>2. PCなどを活用して教材を作成することができる。(汎用可能な技能を身につける)</li> <li>3. 教材分析や授業設計の手続きを説明できる。</li> <li>4. 授業の設計、実施、評価、改善に慣れ親しむ。(他者とも協働し指導案を検討する)</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> <li>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</li> <li>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</li> <li>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</li> <li>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</li> <li>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</li> <li>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</li> </ol>		
成績評価の方法・基準等/Grading	課題60%、期末試験40%の配分で評価し、総合点60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前にLACS上に資料を掲載し、予め読んでくること		
キーワード/Key word	授業設計、教材開発、ICT		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	参考図書 教師のためのインストラクショナルデザイン・授業設計マニュアル 稲垣 忠・鈴木克明編著 (北大路書房) 学習者とともに取り組む授業改善?授業設計・教育の方法および技術・学習評価 松田稔樹 星野敦子 波多野和彦 著 (学文社)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1月4日	「教育方法・技術論」の目標と概要、特に、この授業展開の中心となる「教育工学」に関しての解説を行う。 また、生徒に求められる資質・能力を育成するための教育方法の在り方（主体的・対話的で深い学びの実現など）、教育方法の基礎的理論と実践を理解する。
5月9日	基礎的な学習指導理論を踏まえて、目標・内容、教材・教具、授業展開、学習形態（アクティブラーニング技法・協同学習の方法）、評価規準等の視点を含めた学習指導案を作成するため授業構想の検討、教材研究の方法について理解する。
10月11日	評価の方法、評価計画の立案（評価の観点と基準）について理解する
12月14日	生徒たちの興味・関心を高めたり課題を明確につかませたり学習内容を的確にまとめさせたりするために、ICTを利用した教育の方法、その活用のための情報モラル、デジタル教材作成法について学び、デジタル教材作成の実践（グループワークを含む）に取り組む
15	授業指導、評価、改善について、グループワークを通じ、全体をふりかえる。

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/09/21		
必修選択 / Required/Elective class	選択, 自由 / elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0, 0.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588000701	科目番号 / Subject code	05880007
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11211_006		
授業科目名 / Subject	生徒・進路指導論 / Academic and Career Guidance		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池田 浩 / Ikeda Ko		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	池田 浩 / Ikeda Ko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	池田 浩 / Ikeda Ko		
科目分類 / Class type	自由選択科目, 教職に関する科目, 査定外		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kouikeda nagasaki-u.ac.jp(池田) kita1120 nagasaki-u.ac.jp(北浦) labo nagasaki-u.ac.jp(小原)		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部5階527号室(池田)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2234		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメール対応(随時) kouikeda nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	生徒指導は、一人一人の児童及び生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じて行われる、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身につける。進路指導は、児童及び生徒が自ら、将来の進路を選択・計画し、その後の生活によりよく適応し、能力を伸長するように、教育が組織的・継続的に指導・援助する過程であり、長期的展望に立った人間形成を目指す教育活動である。それを包含するキャリア教育は、学校で学ぶことと社会の接点を意識し、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むことを目的としている。進路指導・キャリア教育の視点に立った授業改善や体験活動、評価改善の推進やガイダンスとカウンセリングの充実、それに向けた学校内外の組織的な体制に必要な知識や素養を身に付ける。		
授業到達目標/Course goals	<p>生徒指導の理論及び方法</p> <p>(1)生徒指導の意義と原理</p> <p>1)教育課程における生徒指導の位置付けを理解している。</p> <p>2)各教科・道徳教育・総合的な学習の時間・特別活動における生徒指導の意義や重要性を理解している。</p> <p>3)集団指導・個別指導の方法原理を理解している。</p> <p>4)生徒指導体制と教育相談体制そぞ家の基礎的な考え方と違いを理解している。</p> <p>(2)児童生徒及び生徒全体への指導</p> <p>1)学級担任、教科担任その他の校務分掌得上の立場や役割並びに学校の指導方針及び学年指導計画に基づいた組織的な取組の重要性を理解している。</p> <p>2)基礎的な生活習慣の確立や規範意識の醸成等の日々の生徒指導の在り方を理解している。</p> <p>3)児童及び生徒の自己の存在感が育まれるような場や機会の設定の在り方を例示することができる。</p> <p>(3)個別の課題を抱える個々の児童及び生徒への指導</p> <p>1)校則・懲戒・体罰等の生徒指導に関する主な法令の内容を理解している。</p> <p>2)暴力行為・いじめ・不登校等の生徒指導上の課題の定義及び対応の視点を理解している。</p> <p>3)インターネットや性に関する課題、児童虐待への対応等の今日的な生徒指導上の課題や、専門家や関係機関との連携の在り方を例示することができる。</p> <p>進路指導及びキャリア教育の理論及び方法</p> <p>(1)進路指導・キャリア教育の意義及び理論</p> <p>1)教育課程における進路指導・キャリア教育の位置付けを理解している。</p> <p>2)学校の教育活動全体を通じたキャリア教育の視点と指導の在り方を例示することができる。</p> <p>3)進路指導・キャリア教育における組織的な指導体制及び家庭や関係機関との連携の在り方を理解している。</p> <p>(2)ガイダンスとしての指導</p> <p>1)職業に関する体験活動を核とし、キャリア教育の視点を持ったカリキュラムマネジメントの意義を理解している。</p> <p>2)主に全体指導を行うガイダンスの機能を生かした進路指導・キャリア教育の意義や留意点を理解している。</p> <p>(3)カウンセリングとしての指導</p> <p>1)生涯を通じたキャリア形成の視点に立った自己評価の意義を理解し、ポートフォリオの活用の在り方を例示することができる。</p> <p>2)キャリア・カウンセリングの基礎的な考え方と実践方法を説明することができる。</p>		

知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society	
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers	
成績評価の方法・基準等 / Grading	演習成果資料・レポート(70%) 授業及び協議への参画態度(30%)	
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照	
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	担当教員によって指示	
キーワード / Key word	実践的生徒指導力 児童生徒理解 キャリア教育	
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	生徒指導提要(文部科学省)、その他配布資料	
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)		
備考 (URL) / Remarks (URL)		
学生へのメッセージ / Message for students		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回 6月23日(土)	生徒指導の意義と原理(北浦)	A B
第2回 6月23日(土)	生徒指導と教育課程(北浦)	A B
第3回 6月23日(土)	生徒指導の方法と技術(北浦)	A B
第4回 6月23日(土)	部活動の意義とその在り方(北浦)	A B
第5回 6月30日(土)	問題行動と生徒の心理(小原)	A B
第6回 6月30日(土)	生徒指導の実際(全体指導と個別の課題を抱える生徒の指導)(小原)	A B
第7回 6月30日(土)	生指導の実際(演習:事例研究)(北浦)	A B C
第8回 6月30日(土)	生指導の実際(演習:事例研究)(北浦)	A B C
第9回 7月7日(土)	生徒指導と法(北浦)	A B
第10回 7月7日(土)	家庭・地域・関係機関との連携(北浦)	A B
第11回 7月7日(金)	進路指導・キャリア教育の理念と意義(池田)	A B
第12回 7月7日(土)	進路指導・キャリア教育と教育課程(池田)	A B
第13回 7月14日(土)	進路指導・キャリア教育の指導の在り方(池田)	A B
第14回 7月14日(土)	進路指導・キャリア教育上の課題と指導の実際(池田)	A B
第15回 7月14日(土)	キャリア教育上の課題と指導の実際(指導案作成)(池田)	A B C



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/21		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588005301	科目番号 / Subject code	05880053
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12261_002		
授業科目名 / Subject	芸術と文化 / Arts and Culture		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	堀内 伊吹 / Horiuti Ibuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	堀内 伊吹 / Horiuti Ibuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	堀内 伊吹 / Horiuti Ibuki		
科目分類 / Class type	自由選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Target students	主対象、1年~4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	horiuchi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部音楽棟2階2		
担当教員TEL/Tel	095 \ 819-2343		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 6時間目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	長崎の芸術文化活動の実態を概観し、実際に文化施設に出かけ、芸術鑑賞を行う。		
授業到達目標/Course goals	音楽文化を取り巻く状況が理解でき、実際の演奏会を鑑賞し、生の演奏に触れる喜びを感じ取ることが出来る。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	推薦する文化イベントから2つを選択し、自分の意見を交えた芸術体験レポートを提出。レポート による評価を行う。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	音楽文化、文化ホール、自主文化事業、音楽祭		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	その都度指示します		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	心を静めて熱心に芸術鑑賞ができること		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り 組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	外部講師の先生方のご都合により、授業内容が変更になる場合があります。授業開始時に、スケジ ュールを示します。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	この授業の進め方、ガイダンス
第2回	「長崎の文化活動について」
第3回	「長崎の文化とマスメディア報道について」 ゲストスピーカー 河野英雄前ブリックホール館長を迎えて
第4回	「文化ホールに出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう」
第5回	「音楽文化活動としての自主文化公演」
第6回	「舞台芸術の鑑賞について」
第7回	「文化イベント・コンサートの作り方」
第8回	「文化施設に出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう」
第9回	「美術と音楽」ゲストスピーカー、米田館長をお迎えして
第10回	「美術と音楽、そして芸術」
第11回	「音楽芸術に親しむ方法」
第12回	「季節をめぐるの音楽」
第13回	「文化ホールに出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう」
第14回	「長崎の音楽活動、その行方」
第15回	「人生の友としての舞台芸術」
第16回	(予備)

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/05/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180588005701	科目番号 / Subject code	05880057
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 22319_032		
授業科目名 / Subject	上級外国語(フランス語) / Advanced French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Target students	全学		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00?12:50 水曜日 12:00?12:50 木曜日 10:30?12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	フランス語のコミュニケーションの実践力をさらに身につけるための授業です。自分自身の言葉で明確に考えを表現し、ヨーロッパ共通言語参照枠のA2レベルに相当する授業となります。		
授業到達目標/Course goals	CALL教室やIpadを使用して、復習をしながら、さらに完璧な会話力を身につけることを目標とします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	発表50%、課題25%、授業態度25%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	上級フランス語		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	コピーを渡します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	皆さんの興味・関心があることを教えてください。それらを取り入れながら授業していきます。時間割では水曜の6限になっていますが、受講希望者の意見を聞いて、時間割を変えます。受講希望者で水曜の6限に来れない場合は、eohashi_nagasaki-u.ac.p に受講可能な曜日と時間をメールしてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	Ipadを使って、発音を調べよう。	A B C D
第2回	Dragon dictationを使用して、発音を練習してみよう。	A B C D
第3回	「?していたものだった」を学ぶ 1) サッカーをしていた 2) 漫画をよんでいた 3) 塾に行っていた	A B C D
第4回	「未来形」を学ぶ 1) 天気予報を言ってみる 2) 1年の予定を言う 3) ペアレッスン	A B C D
第5回	「関係代名詞」を学ぶ 1) 二つの文をひとつにする 2) チャットをしよう 3) シャンソンの単語を聞き取ろう	A B C D
第6回	友達を映画にさそう会話を考えよう。	A B C D
第7回	パワーポイントで自分の出身県を紹介しよう	A B C D
第8回	発表	A B C D
第9回	T V 5 (フランスのテレビ)を見ながら、買い物、レストランでの注文を実践しよう(1)	A B C D
第10回	T V 5を見ながら聞き取りをしてみよう	A B C D
第11回	絵葉書を書いてみよう	A B C D
第12回	友達とレストランに行く会話を考えよう。	A B C D
第13回	グループワーク(1)シナリオを作ってみる	A B C D
第14回	グループワーク(2)シナリオを作ってみる	A B C D
第15回	グループワーク(3) Ipad でビデオで撮影しよう	A B C D
第16回	発表	A

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/06/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180588005801	科目番号 / Subject code	05880058
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 22419_032		
授業科目名 / Subject	上級外国語(中国語) / Advanced Chinese		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	xiaoan nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環境科学部 1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日の6校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	本講は学生が2年次までに習得した中国語基礎コミュニケーション能力の向上とより高度な表現力の養成をめざす。「読む・書く・聴く・話す」の四能力のうち、特に「聞く・話す」に重点を置きながら、標準的な日常会話ができる語学力を習得させる。		
授業到達目標/Course goals	テキストをもとに、日常生活によく使われる表現を用いて基本的な文法を学び、標準的な日常会話ができるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	期末テスト(60%)、口頭発表・課題(30%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法 )/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリント配布		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業に関する説明		

第2回	家族について
第3回	趣味について
第4回	勉強について
第5回	買い物について
第6回	スポーツについて
第7回	友達について
第8回	アルバイトについて
第9回	料理について
第10回	旅行について
第11回	学生生活について
第12回	気候について
第13回	交通について
第14回	将来について
第15回	中国語での発表
第16回	レポート提出

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/05/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180588005901	科目番号 / Subject code	05880059
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 22519_032		
授業科目名 / Subject	上級外国語(韓国語) / Advanced Korean		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教養教育B棟1階106番教員研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	韓国語 T~ Wで身につけた韓国語コミュニケーション能力を総合し、実践する科目です。		
授業到達目標/Course goals	<p>@リサーチに必要な資料を日韓両言語で収集し、分析することができる。 A日韓両言語でリサーチを行うことができる。 Bリサーチ結果を、日韓両言語で分かりやすく発信することができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	<p>事前活動 30% 現地リサーチ 30% プレゼン 20% 最終レポート 20%</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法 )/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book			
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	原則、韓国 T~ Wを履修した人を対象とします。また現地リサーチを含め、授業には全回出席し なければなりません。現地リサーチのための費用は本人負担となります。また受講希望者が、グル ープリサーチに必要な人数に達しない場合は、開講しないことがあります。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	調査地バトル 個人プレゼン 調査地を決定する Webで調査地について調べる
第3回	リサーチ・トピック 個人プレゼン リサーチ・トピックを決める リサーチ方法について調べる
第4回	リサーチ方法 個人プレゼン リサーチ・方法を決定する リサーチ・クエスチョンを作る
第5～6回	最終チェック
第7～10回	現地リサーチ(4月28日～5月6日の間、2泊3日予定)
第11～12回	リサーチ結果の集計と分析
第13～14回	パワーポ制作
第15回	プレゼン



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/05/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588006601	科目番号 / Subject code	05880066
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 15771_001		
授業科目名 / Subject	自分のキャリアを考える講座 ~ 男女共同参画とダイバーシティの視点から ~ / Think Your Own Career - From Viewpoint of Gender Equality and Diversity -		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	伊東 昌子 / Ito Masako, 南 貴子 / Minami Takako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	伊東 昌子 / Ito Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	伊東 昌子 / Ito Masako, 南 貴子 / Minami Takako		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Target students	1年生、2年生 / 1st and 2nd graders		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masako nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	ダイバーシティ推進センター / Center for Diversity and Inclusion		
担当教員TEL / Tel	095-819-2383		
担当教員オフィスアワー / Office hours	8時30分-12時、13時00分-17時30分 / 8:30-12:00, 13:00-17:30		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	男女共同参画・ワークライフバランス・ダイバーシティを通して、社会の一員としてのキャリア形成に役立てる / Through gender equality, work-life balance, diversity, we will use it to form a career as a member of society.		
授業到達目標 / Course goals	自分をよく理解すること、自分のやりたいこと、なりたい人物像を知ること。ワークライフバランス・ダイバーシティ(多様性)の意味を理解し、自分の将来のキャリア形成に関連付けることができるようになる / To understand yourself, to know what you want to do, to know the person you want to become. Understand the meaning of work-life balance, diversity and be able to relate it to your future career formation		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	レポートとプレゼンテーション(60%)、出席(40%) / プレゼンテーションは、グループで選んだ課題をグループでまとめて、パワーポイントで発表してもらいます / Reports and presentations (60%), attendance (40%), In presentation, group chosen tasks and make a presentation using PowerPoint.		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	必要に応じて指示 / Instructions as necessary		
キーワード / Key word	ダイバーシティ、キャリア、ワークライフバランス / diversity, career, work life balance		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	必要に応じて資料を配布する / Distribute materials as necessary.		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	特になし / Nothing in particular		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)	http://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp、http://nagasaki-ajisai.jp		

<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>この講義を担当するのは、長崎大学ダイバーシティ推進センターの伊東昌子です。長崎大学医学部を卒業して、長崎大学病院で医師として働き、今は同大学ダイバーシティ推進センターに勤務しています。ダイバーシティとは「多様性」という意味で、ダイバーシティ推進とは、さまざまな考え方や価値観を受け入れて、個人が個人としてイキイキと過ごし、自分の「やってみたいこと」「仕事にしたいこと」「こうやって生きたい」と思っていることを実現できるようにすることです。自分の人生と仕事のキャリアを考え、なりたい自分を見つける、また社会生活において他の人の考え方や価値観を尊重することの重要性や生活と仕事の相乗効果と一緒に考え、これから社会人になっていくみなさんために有意義な講義にしていきたいと思えます。 / Masako Ito Masako, Center for Diversity and Inclusion, Nagasaki University is in charge of this lecture. After graduating from Nagasaki University School of Medicine, I worked as a medical doctor at Nagasaki University Hospital and now I work for Center for Diversity and Inclusion. Diversity means "to accept and cherish individual ideas and values". Consider about careers of your life and work, find what you want to be, think about the importance of respecting other people's thinking and values ??in social life, together with the synergistic effect of life and work together. I would like to make meaningful lectures for everyone who is going on.</p>
---------------------------------------	---

授業計画詳細 / Course Schedule

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回(4月11日)	自分のキャリアを自分で考える: ワークライフバランスとダイバーシティ(伊東)	D
第2回(4月11日)	自分のキャリアを自分で考える: ワークライフバランスとダイバーシティ(伊東)	D
第3回(4月18日)	豊かに生きるためのコミュニケーション(伊東)	D
第4回(4月18日)	無意識の偏見と差別を知る(伊東)	B
第5回(4月25日)	ワークライフバランス(伊東)	B
第6回(4月25日)	ワークライフバランス(伊東)	B
第7回(5月2日)	ジェンダーで考えるあなたの未来~ジャンボ宝くじは必ずあたる?!(伊東)	D
第8回(5月2日)	ジェンダーで考えるあなたの未来~ジャンボ宝くじは必ずあたる?!(伊東)	D
第9回(5月9日)	キャリア継続のための両立Know-How(南貴子先生)	D
第10回(5月9日)	柔軟な働き方・柔軟な生き方について考える(伊東)	D
第11回(5月16日)	グローバルな視野から見た仕事と生活の両立(未定)	A
第12回(5月16日)	PBL: 柔軟な働き方・柔軟な生き方について考える(伊東)	A
第13回(5月23日)	妊娠・出産・育児を取り巻く社会環境(大石和代先生)	A
第14回(5月23日)	親と子のきずなはどうつくれるか(大石和代先生)	A
第15回(5月30日)	学生プレゼン・総括(伊東)	C

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588006701	科目番号 / Subject code	05880067
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 15781_004		
授業科目名 / Subject	データの科学 / Data Science		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宰 / Yoshimura Osamu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宰 / Yoshimura Osamu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宰 / Yoshimura Osamu		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Target students	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	osamu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してくだ さい)		
担当教員研究室/Instructor office	大学教育イノベーションセンター・アドミッション部門		
担当教員TEL/Tel	095-819-2117		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (eメールで予約してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	この授業は、データに基づく意思決定を行うために必要な、データ収集・整理・表現・分析の基本的な心構えと知識・技能を身につけることを目的とする自由選択科目です。なお取り扱うデータは主として社会科学領域のものとしします。		
授業到達目標/Course goals	データを適切なグラフや表で表現しその特徴を読み取れるようになる。 データの要約統計量や集計表に基づきデータの特徴を説明できるようになる。 確率分布の考え方を理解し、確率を用いた意思決定を行えるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	主として課題、授業への積極的関与の程度などによって総合的に評価します。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各回の授業後にその回の授業で何が分かったか・できるようになったか (何が分からなかったか) をブログに記入してもらいます。		
キーワード/Key word	標本調査, 母集団, 無作為標本, 平均, 中央値, 最頻値, 分散, 標準偏差, 標準化, 種々のグラフ, クロス表, 散布図, 独立, 共分散, 相関係数, 確率, 確率密度, 確率分布, 母数, 推測統計, 統計的仮説検定, 2乗, 単回帰分析		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜資料等を配布します。テキストは指定しません。 授業で用いたスライドをいくつかまとめて後で配布します。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	・第1回目にパソコンを持参している。 ・パソコンの操作に慣れている。(アプリケーションを起動する, ダウンロードしたファイルを任意のフォルダに保存する等) ・エクセル・ワードをある程度操作できる。 このシラバスを読んでいる。(重要!) これらの要件をすべて満たしていなければ受講を認めません。		
アクセシビリティ /Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり 得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配 慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい 学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)	参考となるWebサイトです。 ・データサイエンス・スクール ( <a href="http://www.stat.go.jp/dss/index.htm">http://www.stat.go.jp/dss/index.htm</a> )		
学生へのメッセージ/Message for students	ビッグデータを簡単に得ることができる時代となったのは確かです。それをどう活かすかはスマートフォンデータを適切に扱うことのできる知識や技能が必要です。データの誤用, 悪用を見抜く目を養いましょう。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (11/29)	ガイダンスと準備 (授業の概要説明) <ul style="list-style-type: none"> <li>・記述統計と推測統計</li> <li>・PC環境の整備 (LACSの確認, JMPのインストールとライセンスの更新)</li> </ul> データ収集法の種類と特徴 (質問紙調査を中心に) <ul style="list-style-type: none"> <li>・データの種類 (質的データ, 量的データ), 尺度</li> <li>・質問紙への回答データの入力 (よくあるミス, ミスの発見)</li> </ul>
第2回 (12/6)	データの整理と要約 (JMP入門) <ul style="list-style-type: none"> <li>・単純集計, クロス集計</li> <li>・平均値・中央値・最頻値, 分散・標準偏差, 標準化</li> <li>・作図</li> </ul>
第3回 (12/13)	2変量の連関 (クロス集計, 2乗値, 散布図, 共分散, 相関係数) <ul style="list-style-type: none"> <li>・独立な2変量</li> </ul> データに基づく主張を批判的に吟味する
第4回 (12/20)	推測統計 <ul style="list-style-type: none"> <li>・母集団と標本</li> <li>・無作為抽出</li> </ul> サンプルング実験 <ul style="list-style-type: none"> <li>・乱数</li> <li>・母平均の推定値と標準誤差</li> <li>・理論の説明</li> </ul> 演習
第5回 (1/10)	確率, 確率変数, 確率分布, 確率密度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・確率分布とは</li> <li>・データに基づく意思決定 (確率的な判断)</li> </ul> 演習
第6回 (1/17)	統計的仮説検定 (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・z検定</li> <li>・母平均と母分散が分かっている場合</li> <li>・帰無仮説</li> </ul> 演習
第7回 (1/24)	統計的仮説検定 (2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・2乗値を用いた検定</li> <li>・2乗値とは</li> <li>・2乗分布</li> <li>・帰無仮説</li> </ul> 演習
第8回 (1/31)	回帰分析, 重回帰分析 <ul style="list-style-type: none"> <li>・従属変数と独立変数 (目的変数と説明変数)</li> <li>・回帰係数, 標準化回帰係数</li> <li>・変数選択, 重相関係数係数, 決定係数</li> </ul> 期末課題 (総合演習)

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588007001	科目番号 / Subject code	05880070
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 15791_001		
授業科目名 / Subject	生物の科学 / Biological Sciences		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
科目分類 / Class type	自由選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Target students	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahasi nagasaki-u.ac.jpまたはshabshab q.vodafone.ne.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-1343-1361		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール, 電話等でアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	<p>ヒトのからだや生命の仕組みを探る上で、動物の体構造や機能を知ることが大変重要なことである。一方で、我々は、動物の行動という、言葉に代わる動物の表現を把握し、動物との対話を推し進めてきた。現在、ヒトの健康や病気の治療に用いられる医薬品の開発や作用機構を知るためには動物実験は欠かせないが、その生命を擲ってくれる動物がその行動を通じて我々にどのように情報を与えようとしているのか、我々は的確に判断しなければならない。言い換えれば、物言えぬ動物の行動という言葉の投げかけに対し、十分理解することによって動物との対話が成り立つ。ここでは、行動分析的切り口から動物の行動を学習し、現代の科学的発展への役割を理解する。また、授業の後半では、動物の行動を通じて知り得た情報が、単なる偶然の産物なのか、それとも科学的に信頼できる意義のあるデータであるのかを、統計初心者にも分かる簡単な統計的手法を用い、科学的根拠に基づいた動物行動であるかどうかを分析、理解できることもねらいとする。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>動物の行動や動物実験から何がわかるか説明できる(基盤的知識, 自主的探求)  薬物の適正使用や乱用薬物の有害性について理解する(基盤的知識, 批判的思考)  動物の行動分析を通じて、薬の開発への経緯を理解する(基盤的知識, 多様性の意義)  動物の行動からヒトの社会科学への展開を説明できる(自主的探求, 自己表現力, 多様性の意義)  動物実験データの基本的な推計学的分析ができ、信頼性について理解し、説明できるようになる(基盤的知識, 自己表現力)</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons(1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over  B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives  C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills  D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems  E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above  F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	定期試験(60%), 随時行う講義中の小テスト, レポート(20%)および授業への積極的な参加・貢献度(20%)から総合的に判断して成績評価を行う。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	毎回、その日の学習課題の復習や発展応用力をねらいとした自宅学習用課題を配布し、学習の完成度を高めます。随時、提出を求め、成績評価に組み込みます。		
キーワード/Key word	動物行動科学 動物モデル 乱用薬物 行動分析 行動毒性 推計学		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いない。適宜、ハンドアウトを配布する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	原則として全回出席することを単位認定の要件とする。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	一般教養レベルとして医薬品開発のための動物実験や動物の行動分析を学び、今後の学習への志向、態度を涵養する。
学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方 動物の行動(1) 本能行動、動物実験とその意義
第2回	動物の行動機能試験(1) 情動系 動物の向精神作用とその動物モデル
第3回	動物の行動機能試験(2) 情動系 動物と不安、ストレス
第4回	動物の行動機能試験(3) 報償系 動物が教える薬物乱用の怖さ
第5回	動物の行動機能試験(4) 報償系 薬物依存に関する行動分析
第6回	動物の行動機能試験(5) 生体防御系 医薬品の適正使用と薬物依存
第7回	動物の行動機能試験(6) 学習・記憶系 学習・記憶機能試験法
第8回	動物の行動機能試験(7) 学習・記憶系 抗健忘薬・向知性薬
第9回	動物の行動機能試験(8) 学習・記憶系 学習・記憶機能試験の分析法
第10回	動物の行動機能試験(9) 動物の行動毒性から学ぶこと
第11回	動物実験とデータ処理(1) 動物実験で使用される基本的検定法 1
第12回	動物実験とデータ処理(2) 動物実験で使用される基本的検定法 2
第13回	動物実験とデータ処理(3) 動物実験で使用される基本的検定法 3
第14回	動物実験とデータ処理(4) メンデルの実験データを考える
第15回	全授業の総括
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/21		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588007002	科目番号 / Subject code	05880070
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 15791_001		
授業科目名 / Subject	生物の科学 / Biological Sciences		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
科目分類 / Class type	自由選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Target students	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahasi nagasaki-u.ac.jpまたはshabshab q.vodafone.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-1343-1361		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール, 電話等でアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	ヒトのからだや生命の仕組みを探る上で、動物の体構造や機能を知ることが大変重要なことである。一方で、我々は、動物の行動という、言葉に代わる動物の表現を把握し、動物との対話を推し進めてきた。現在、ヒトの健康や病気の治療に用いられる医薬品の開発や作用機構を知るためには動物実験は欠かせないが、その生命を擲ってくれる動物がその行動を通じて我々にどのように情報を与えようとしているのか、我々は的確に判断しなければならない。言い換えれば、物言えぬ動物の行動という言葉の投げかけに対し、十分理解することによって動物との対話が成り立つ。ここでは、行動分析的切り口から動物の行動を学習し、現代の科学的発展への役割を理解する。また、授業の後半では、動物の行動を通じて知り得た情報が、単なる偶然の産物なのか、それとも科学的に信頼できる意義のあるデータであるのかを、統計初心者にも分かる簡単な統計的手法を用い、科学的根拠に基づいた動物行動であるかどうかを分析、理解できることもねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	動物の行動や動物実験から何がわかるか説明できる (基盤的知識, 自主的探求) 薬物の適正使用や乱用薬物の有害性について理解する (基盤的知識, 批判的思考) 動物の行動分析を通じて、薬の開発への経緯を理解する (基盤的知識, 多様性の意義) 動物の行動からヒトの社会科学への展開を説明できる (自主的探求, 自己表現力, 多様性の意義) 動物実験データの基本的な推計学的分析ができ、信頼性について理解し、説明できるようになる (基盤的知識, 自己表現力)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	定期試験 (60%), 随時行う講義中の小テスト, レポート (20%) および授業への積極的な参加・ 貢献度 (20%) から総合的に判断して成績評価を行う。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	毎回、その日の学習課題の復習や発展応用力をねらいとした自宅学習用課題を配布し、学習の完成 度を高めます。随時、提出を求め、成績評価に組み込みます。		
キーワード/Key word	動物行動科学 動物モデル 乱用薬物 行動分析 行動毒性 推計学		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いない。適宜、ハンドアウトを配布する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	原則として全回出席することを単位認定の要件とする。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	一般教養レベルとして医薬品開発のための動物実験や動物の行動分析を学び、今後の学習への志向、態度を涵養する。
学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方 動物の行動(1) 本能行動、動物実験とその意義
第2回	動物の行動機能試験(1) 情動系 動物の向精神作用とその動物モデル
第3回	動物の行動機能試験(2) 情動系 動物と不安、ストレス
第4回	動物の行動機能試験(3) 報償系 動物が教える薬物乱用の怖さ
第5回	動物の行動機能試験(4) 報償系 薬物依存に関する行動分析
第6回	動物の行動機能試験(5) 生体防御系 医薬品の適正使用と薬物依存
第7回	動物の行動機能試験(6) 学習・記憶系 学習・記憶機能試験法
第8回	動物の行動機能試験(7) 学習・記憶系 抗健忘薬・向知性薬
第9回	動物の行動機能試験(8) 学習・記憶系 学習・記憶機能試験の分析法
第10回	動物の行動機能試験(9) 動物の行動毒性から学ぶこと
第11回	動物実験とデータ処理(1) 動物実験で使用される基本的検定法 1
第12回	動物実験とデータ処理(2) 動物実験で使用される基本的検定法 2
第13回	動物実験とデータ処理(3) 動物実験で使用される基本的検定法 3
第14回	動物実験とデータ処理(4) メンデルの実験データを考える
第15回	全授業の総括
第16回	定期試験



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/06/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588007201	科目番号 / Subject code	05880072
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 15801_001		
授業科目名 / Subject	ボランティアを通して地域を知る / Discover Your Community Through Volunteer Activity		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	伊東 昌子 / Ito Masako, 永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 北村 史 / Kitamura Fumito, 井口 茂 / Inokuti Shigeru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	伊東 昌子 / Ito Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	伊東 昌子 / Ito Masako, 永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 北村 史 / Kitamura Fumito, 井口 茂 / Inokuti Shigeru		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Target students	1年生、2年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masako nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	ダイバーシティ推進センター/Center for Diversity and Inclusion		
担当教員TEL/Tel	095-819-2383		
担当教員オフィスアワー/Office hours	8時30分?12時、13時00分?17時30分/8:30-12:00, 13:00-17:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	少子・高齢化社会で生きていくために、高齢者についての理解を深め、介護の現実と介護者支援の必要性を理解する。また、子どもたちの成長過程や親子の絆を学ぶ。講義の中で、実際にボランティアの機会を通して自らも成長し、社会のフィールドにおいて、豊かなコミュニケーション力を育み学びを深める。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア体験を通して、地域で暮らす高齢者や子どもとその社会について理解する。</li> <li>・介護している人(介護者)の支援について理解する。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	レポート(30%)、発表(30%)、出席(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	必要に応じて指示/ Instructions as necessary		
キーワード/Key word	高齢者、子ども、支援、ボランティア、地域		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	必要に応じて資料を配布する/ Distribute materials as necessary		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	指定された週末(主に土曜日)にフィールドワーク(ボランティア)に参加できること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)	注釈: フィールドワークは、日程調整のうえ実施します。1回3時間×2回とし、計4回分の講義(第10回と第11回、第12回と第14回)への出席・参加として評価します。		
学生へのメッセージ/Message for students	本講義では、少子・高齢社会で生きる若い世代のみなさんと、高齢者や介護者支援、ボランティアについて一緒に考えます。今後社会に出て活躍する際に、自身のライフイベントとして避けては通れないことを一緒に考えていきましょう。興味がある方は、是非受講ください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (6月6日)	長寿社会の光と影 (井口先生)
第2回 (6月6日)	高齢者の特性と地域活動 (松坂先生)
第3回 (6月13日)	聴を学ぼう (第1回ケアラーサポーター育成研修として実施)
第4回 (6月13日)	傾聴を学ぼう (第1回ケアラーサポーター育成研修として実施)
第5回 (6月20日)	仕事を辞めずに育児・介護をする大切さを学ぶ (伊東)
第6回 (6月20日)	フィールドワークに向けたオリエンテーションとグループワーク (井口先生)
第7回 (6月27日)	こどもの心と身体の発育・発達 (永橋先生)
第8回 (6月27日)	こどもの心と身体の発育・発達 (永橋先生)
第9回 (7月4日)	ボランティアのためのコミュニケーションのとり方を学ぶ (北村先生)
第10回 (7月4日)	ボランティアのためのコミュニケーションのとり方を学ぶ (北村先生)
第11回 (7月11日)	フィールドワーク (井口先生)
第12回 (7月11日)	フィールドワーク (井口先生)
第13回 (7月18日)	認知症サポーター養成講座 (第2回ケアラーサポーター育成研修として実施)
第14回 (7月18日)	認知症サポーター養成講座 (第2回ケアラーサポーター育成研修として実施)
第15回 (7月25日)	ディスカッション、プレゼンテーション、総評 (井口先生)
第16回 (7月25日)	予備日

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588010001	科目番号 / Subject code	05880100
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11411_001		
授業科目名 / Subject	平成長崎塾 / Nagasaki and Its Culture Historical Perspectives		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu, 太田 久 / Oota Hisashi, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 冨塚明 / Tomiduka Akira		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu, 太田 久 / Oota Hisashi, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 冨塚明 / Tomiduka Akira		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Target students	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	takahasi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	090-1343-1361		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にメール、電話等でアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	<p>笠を負って長崎に游学する...長崎は昔から町全体が大学だった、ともいわれています。ならば長崎に游学した勝海舟、坂本龍馬、高杉晋作、福澤諭吉は長大OBといって自慢していい。こんな由緒ある長崎大学あるいは長崎の歴史は？文化は？産業は？地域が誇るものは？原爆被災や復興は？...この講義では、そのルーツから現在までの長崎大学の歴史と、そしてこの長崎大学を育み、かつ大学とともに歩んできた長崎の街やを多面的な切り口から学び知ることによって、長崎大学で学び、長崎の街で学生生活を送る諸君が、本学や長崎を誇りに思い(愛校精神)、将来、地域の活性化や社会貢献の意欲を持ってもらいます。また、多面的なもの見方、考え方があることを知り、長崎のより深い知識、理解を発展させる学習意欲を身につけてもらうこともねらいとします。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>長崎大学や長崎の歴史、文化、文学、産業の概要が説明できるようになることです。多面的なもの見方、考え方があることを理解することです。歴史、文化、文学、産業の長崎独自性について意見を展開できることを目指します。長崎のより深い知識、理解を発展させる学習意欲を身に付けることです。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over  B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives  C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills  D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems  E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above  F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Grading	<p>毎回の積極的な授業への出席を前提に、提出するレポートで評価します(100%)。授業中に配布するレポート用紙を用いること(用紙のコピーなど不正用紙の使用は採点しません)。配布時に不在の場合、レポート用紙は渡しません。授業に欠席・大幅な遅刻の場合、正当な理由を除きレポートは受け付けません。提出期日に遅れて提出したレポートは受理しないか、あるいは減点します。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	授業の特性上、各回の授業内容に関するハンドアウトは当日配布になると思われますので、通常の事前学習は難しいかもしれません。しかし、各回それぞれの授業内容に関連する分野・領域について広く予習をしておくことで授業が理解しやすいでしょう。		
キーワード / Key word	長崎大学, 長崎, 長崎学, シーボルト, ボンベ, 長崎の歴史, 長崎の文化, 長崎の産業, 世界遺産, 長崎と原爆		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いない。適宜、ハンドアウトを配布します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	毎回の積極的な授業への出席を前提に、受講態度や提出するレポート内容で評価します(100%)		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	平成28年度から開講されている必修科目「長崎地域学」にも広く連携しており、多面的に長崎のことを深く学べる科目です。
学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学や長崎の歴史、文化など多面的に知り、長崎大学生であることを誇りに思い、長崎の街に興味を持って学びに潤いのある学生生活を送る事です。本科目を履修し、長崎学により深い興味を持ち、長崎検定などに合格することも、学習意欲を身に付けることにつながります。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	科目の趣旨説明，講義概要，講義の進め方，長崎大学の現況（高橋）
第2回	1) フォン・シーボルトと鳴滝塾（相川・特別講師）
第3回	2) 海軍伝習と日本の近代化（相川・特別講師）
第4回	3) ポンペ・ファン・メールデルフォールの医学伝習（相川・特別講師）
第5回	1) 長崎ことはじめ，長崎が誇る世界遺産1（高橋）
第6回	2) 長崎が誇る世界遺産2，長崎の歴史を築いた人々（高橋）
第7回	1) 長崎とお茶 ?古から現代まで?（太田）
第8回	1) シーボルトが使ったくすり?19世紀長崎での薬の輸入と革新（田中）
第9回	1) 長崎と原爆1（冨塚）
第10回	2) 長崎と原爆2（冨塚）
第11回	3) 壱岐の島?一支國から始まるロマンと苦難の歴史（高橋）
第12回	4) 長崎の歴史散策紹介(1)（高橋）
第13回	5) 長崎の歴史散策紹介(2)（高橋）
第14回	6) 長崎文学の旅，長崎事件簿（高橋）
第15回	7) 長崎検定・長崎通への誘い，まとめ（高橋）
第16回	予備日

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588010201	科目番号 / Subject code	05880102
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 13111_003		
授業科目名 / Subject	疑似科学とのつき合い方 / Critical Thinking on Pseudo - Science and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	武藤 浩二 / Cosy MUTO, 福山 隆雄 / Takao Fukuyama, 小西 祐馬 / Konishi Yuuma, 山岸 賢一郎 / Kenichiro Yamagishi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	武藤 浩二 / Cosy MUTO		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	武藤 浩二 / Cosy MUTO, 福山 隆雄 / Takao Fukuyama, 小西 祐馬 / Konishi Yuuma, 山岸 賢一郎 / Kenichiro Yamagishi		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Target students	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	cosy nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	教育学部 美術技術教室棟 2F 206		
担当教員TEL/Tel	2361		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日1校時 (0850?1020)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	現代社会に蔓延する各種の疑似科学について学び、それらがなぜ疑似科学と呼ばれるのかを理解することによって、科学的なものの見方を獲得する。さらに科学の「限界」を把握し、科学と価値の関係の理解を通じて、自律的に生きるための基礎力を養う。		
授業到達目標 / Course goals	科学的なものの見方を獲得する。疑似科学かどうかを判断するための方策を考えることができるようになる。科学と価値の関係について考察できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	講義テーマへの積極的な取り組みを重視する立場から、最終課題レポート (50%)、討論を含む講義への貢献度および各教員が課す「小レポート」の成績 (50%) で総合的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	各教員が講義末で課す課題は必ず実施すること。		
キーワード / Key word	科学, 疑似科学, 前科学, 認識論, 感性, 社会調査, 教育		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	資料: 長崎大学教育学部「疑似科学とのつきあいかた」研究会編『疑似科学とのつきあいかた: 教師を目指す皆さんへ』 http://hdl.handle.net/10069/23093 参考書: 菊池聡『なぜ疑似科学を信じるのか』(化学同人), 菊池誠 et.al.『もうだまされなかったための「科学」講義』(光文社新書), 安育育郎『科学と非科学との間』(かもがわ出版), 伊勢田哲治『疑似科学と科学の哲学』(名古屋大学出版会), 池内了『疑似科学入門』(岩波新書), 菊池聡 et.al.『不思議現象 なぜ信じるのか』(北大路書房), 伊勢田哲治 et.al.『科学技術をよく考えるクリティカルシンキング練習帳』(名古屋大学出版会), ジュリアン・バジーニ『100の思考実験』(紀伊國屋書店), 南郷継正『弁証法・認識論への道』(三一書房), 等		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	講義予定は、教員の出張等の都合により変更となる場合があります。
学生へのメッセージ/Message for students	講義情報についてはLACSを参照のこと
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション（全教員）
第2回	血液型と性格（担当教員：福山隆雄，T2：武藤浩二，小西祐馬）
第3回	マイナスイオンとゲルマニウム（担当教員：武藤浩二，T2：小西祐馬，福山隆雄）
第4回	デマの広がり都市伝説（担当教員：福山隆雄，T2：武藤浩二，小西祐馬）
第5回	ケーススタディ1（その1）（担当教員：武藤浩二，T2：小西祐馬，福山隆雄）
第6回	ケーススタディ1（その2）（担当教員：武藤浩二，T2：小西祐馬，福山隆雄）
第7回	水からの伝言（担当教員：武藤浩二，T2：小西祐馬，福山隆雄）
第8回	代替医療（担当教員：武藤浩二，T2：小西祐馬，福山隆雄）
第9回	乳幼児の教育（担当教員：小西祐馬，T2：武藤浩二，福山隆雄）
第10回	社会調査のリテラシー：統計データとの正しい接し方（担当教員：小西祐馬，T2：武藤浩二，福山隆雄）
第11回	ケーススタディ2（その1）（担当教員：武藤浩二，T2：小西祐馬，福山隆雄）
第12回	ケーススタディ2（その2）（担当教員：福山隆雄，T2：小西祐馬）
第13回	ケーススタディ2（その3）（担当教員：武藤浩二，T2：小西祐馬，福山隆雄）
第14回	ケーススタディ2（その4）（担当教員：武藤浩二，T2：小西祐馬，福山隆雄）
第15回	疑似科学とのつき合い方（全教員）

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/05/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588015001	科目番号 / Subject code	05880150
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 03161_003		
授業科目名 / Subject	基礎物理 / Basic Physics		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	原 義明 / Hara Yoshiaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	原 義明 / Hara Yoshiaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	原 義明 / Hara Yoshiaki		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Target students	1年次		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	090-7537-5434		
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	物体の運動, 熱, 電気・磁気などの諸現象が, "力" や "エネルギー" 等の概念を用いて記述でき、 法則としてまとめられることを学ぶ。物理の概念を理解し, 法則を把握し, 現象へ適用する物理の基礎を		
授業到達目標 / Course goals	1. 運動を時間と共に変化する量で表すことができる。 2. 運動方程式により力から運動の解析ができる。 3. 時間と共に変化しないエネルギーに着目して運動が解明できる。 4. 熱及び電気・磁気分野でもエネルギー概念で現象が説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 60% 小テスト 20% (授業時に実施), 課題レポート+授業取り組みへの意欲・態度 20%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	物理基礎研究ノート2018 編集 九州高等学校理科教育研究会 発行 (株) 博洋社		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	・学習した内容はその週内に復習し, 問題演習による確認を図りましょう。その手助けにレポート課題も課します。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	速さと等速直線運動, 速度
第2回	速度の合成, 加速度
第3回	等加速度直線運動
第4回	落下運動
第5回	力の合成・分解, 作用反作用の法則, 慣性の法則
第6回	運動の法則, 運動方程式
第7回	運動方程式の応用, 摩擦力
第8回	圧力・浮力
第9回	仕事・仕事の原理・仕事率
第10回	運動エネルギー, 位置エネルギー
第11回	力学的エネルギーの保存
第12回	熱と温度, 熱量の保存
第13回	熱と仕事, 熱機関と熱効率
第14回	電流と電気抵抗, 電気とエネルギー
第15回	電流と磁界
第16回	定期試験



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/06/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588015002	科目番号 / Subject code	05880150
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 03161_003		
授業科目名 / Subject	基礎物理 / Basic Physics		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	原 義明 / Hara Yoshiaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	原 義明 / Hara Yoshiaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	原 義明 / Hara Yoshiaki		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Target students	1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-7537-5434		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	物体の運動, 熱, 電気・磁気などの諸現象が, "力" や "エネルギー" 等の概念を用いて記述でき, 法則としてまとめられることを学ぶ。物理の概念を理解し, 法則を把握し, 現象へ適用する物理の基礎を		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運動を時間と共に変化する量で表すことができる。</li> <li>2. 運動方程式により力から運動の解析ができる。</li> <li>3. 時間と共に変化しないエネルギーに着目して運動が解明できる。</li> <li>4. 熱及び電気・磁気分野でもエネルギー概念で現象が説明できる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	定期試験 60% 小テスト 20% (授業時に実施), 課題レポート+授業取り組みへの意欲・態度 20%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	物理基礎研究ノート2018 編集 九州高等学校理科教育研究会 発行 (株) 博洋社		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	・学習した内容はその週内に復習し, 問題演習による確認を図りましょう。その手助けにレポート課題も課します。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	速さと等速直線運動, 速度
第2回	速度の合成, 加速度
第3回	等加速度直線運動
第4回	落下運動
第5回	力の合成・分解, 作用反作用の法則, 慣性の法則
第6回	運動の法則, 運動方程式
第7回	運動方程式の応用, 摩擦力
第8回	圧力・浮力
第9回	仕事・仕事の原理・仕事率
第10回	運動エネルギー, 位置エネルギー
第11回	力学的エネルギーの保存
第12回	熱と温度, 熱量の保存
第13回	熱と仕事, 熱機関と熱効率
第14回	電流と電気抵抗, 電気とエネルギー
第15回	電流と磁界
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588015003	科目番号 / Subject code	05880150
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 03161_003		
授業科目名 / Subject	基礎物理 / Basic Physics		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	原 義明 / Hara Yoshiaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	原 義明 / Hara Yoshiaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	原 義明 / Hara Yoshiaki		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Target students	1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-7537-5434		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	物体の運動, 熱, 電気・磁気などの諸現象が, "力" や "エネルギー" 等の概念を用いて記述でき, 法則としてまとめられることを学ぶ。物理の概念を理解し, 法則を把握し, 現象へ適用する物理の基礎を		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運動を時間と共に変化する量で表すことができる。</li> <li>2. 運動方程式により力から運動の解析ができる。</li> <li>3. 時間と共に変化しないエネルギーに着目して運動が解明できる。</li> <li>4. 熱及び電気・磁気分野でもエネルギー概念で現象が説明できる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	定期試験 60% 小テスト 20% (授業時に実施), 課題レポート+授業取り組みへの意欲・態度 20%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	物理基礎研究ノート2018 編集 九州高等学校理科教育研究会 発行 (株) 博洋社		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	・学習した内容はその週内に復習し, 問題演習による確認を図りましょう。その手助けにレポート課題も課します。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	速さと等速直線運動, 速度
第2回	速度の合成, 加速度
第3回	等加速度直線運動
第4回	落下運動
第5回	力の合成・分解, 作用反作用の法則, 慣性の法則
第6回	運動の法則, 運動方程式
第7回	運動方程式の応用, 摩擦力
第8回	圧力・浮力
第9回	仕事・仕事の原理・仕事率
第10回	運動エネルギー, 位置エネルギー
第11回	力学的エネルギーの保存
第12回	熱と温度, 熱量の保存
第13回	熱と仕事, 熱機関と熱効率
第14回	電流と電気抵抗, 電気とエネルギー
第15回	電流と磁界
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/06/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588015101	科目番号 / Subject code	05880151
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 03211_003		
授業科目名 / Subject	基礎化学 / Basic Chemistry		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	筒井 保之 / Yasuyuki Tsutsui		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	筒井 保之 / Yasuyuki Tsutsui		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	筒井 保之 / Yasuyuki Tsutsui		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Target students	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yasuyasu851 mxb.cncm.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室にて水曜日 15:30以降・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	高等学校で「化学基礎」を履修していない学生を対象に、高等学校「化学基礎」の範囲の基礎的 基本的内容を学習します。		
授業到達目標/Course goals	高等学校「化学基礎」で履修する範囲の基礎的基本的な学習内容について理解し、学習内容を関連 の分野で活用できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	成績評価は、定期試験 60%、授業中に実施する小テストおよび提出課題の評価 40%で行います 。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	基礎化学 化学基礎		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	数研出版 「改訂版 化学基礎」		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	全回出席が原則。教科書も必ず準備すること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	化学の基礎基本を学習します。関連の項目について積極的な演習をおこなひましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション 1 物質の構成		

第2回	2 物質の構成粒子 原子とその構造、電子配置、イオン、周期表
第3回	3 粒子の結合 (1)イオン結合とイオンからなる物質、(2)共有結合と分子
第4回	(3)分子の極性と分子間力、(4)共有結合の物質、(5)金属結合と金属
第5回	(6)化学結合のまとめ・結晶
第6回	4 物質と化学反応式 (1)原子量、分子量、式量
第7回	(2)物質量 (3)化学反応式
第8回	(4)化学反応式と物質量
第9回	(5)演習
第10回	5 酸と塩基 (1)酸・塩基
第11回	(2)水の電離と水溶液のpH
第12回	(3)中和反応
第13回	(4)塩の分類と液性 (5)演習
第14回	6 酸化還元反応 (1)酸化と還元 (2)酸化剤と還元剤
第15回	(3)酸化還元反応 (4)金属の酸化還元反応
第16回	(5)演習 (6)酸化還元反応の利用
第17回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588015102	科目番号 / Subject code	05880151
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 03211_003		
授業科目名 / Subject	基礎化学 / Basic Chemistry		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	筒井 保之 / Yasuyuki Tsutsui		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	筒井 保之 / Yasuyuki Tsutsui		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	筒井 保之 / Yasuyuki Tsutsui		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Target students	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yasuyasu851 mxb.cncm.ne.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室にて水曜日 15:30以降・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	高等学校で「化学基礎」を履修していない学生を対象に、高等学校「化学基礎」の範囲の基礎的 基本的内容を学習します。		
授業到達目標/Course goals	高等学校「化学基礎」で履修する範囲の基礎的基本的な学習内容について理解し、学習内容を関連 の分野で活用できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	成績評価は、定期試験 60%、授業中に実施する小テストおよび提出課題の評価 40%で行います 。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	基礎化学 化学基礎		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	数研出版 「改訂版 化学基礎」		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	全回出席が原則。教科書も必ず準備すること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	化学の基礎基本を学習します。関連の項目について積極的な演習をおこないましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション 1 物質の構成		

第2回	2 物質の構成粒子 原子とその構造、電子配置、イオン、周期表
第3回	3 粒子の結合 (1)イオン結合とイオンからなる物質、(2)共有結合と分子
第4回	(3)分子の極性と分子間力、(4)共有結合の物質、(5)金属結合と金属
第5回	(6)化学結合のまとめ・結晶
第6回	4 物質と化学反応式 (1)原子量、分子量、式量
第7回	(2)物質量 (3)化学反応式
第8回	(4)化学反応式と物質量
第9回	(5)演習
第10回	5 酸と塩基 (1)酸・塩基
第11回	(2)水の電離と水溶液のpH
第12回	(3)中和反応
第13回	(4)塩の分類と液性 (5)演習
第14回	6 酸化還元反応 (1)酸化と還元 (2)酸化剤と還元剤
第15回	(3)酸化還元反応 (4)金属の酸化還元反応
第16回	(5)演習 (6)酸化還元反応の利用
第17回	定期試験



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/05/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588015201	科目番号 / Subject code	05880152
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 04111_004		
授業科目名 / Subject	基礎生物 / Basic Biology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Target students	教育、医、歯、薬、環境科学部の1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	heykura10 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office			
担当教員TEL/Tel	095-800-6622		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて質問や要望を受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	高等学校において生物基礎を履修していない者、歯学部の場合はセンター試験において生物を利用していない者に対して、高校の教科書を用いて講義を行う。		
授業到達目標/Course goals	教科書「高等学校生物基礎」の内容を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	15回の講義の終わり10分間で確認の小テストを実施する。各3点満点としその合計45点を平常点とする。期末考査の得点を55点に換算して平常点の45点を加えて100点として評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	高等学校「生物基礎」(数研出版)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	教育学部、医学部、薬学部、環境科学部の1年生で高等学校において生物基礎を履修していない者、あるいは歯学部1年生でセンター試験において生物を利用していない者。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	高校の教科書「生物基礎」に目を通し、常識的内容を理解し大学での専門的な生物関係の教科・科目を学んでいく手がかり・足がかりとする。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第一章 生物の特徴 ・生物の多様性 ・生物の共通性と多様性の起源 ・生物の特性 ・細胞の多様性		

第2回	第一章 生物の特徴 ・細胞の構造にみられる共通性 ・代謝とATP ・ATPの構造と働き
第3回	第一章 生物の特徴 ・葉緑体も構造と色素 ・光エネルギーの吸収 ・光合成の過程
第4回	第一章 生物の特徴 ・ミトコンドリアと細胞質基質 ・呼吸の過程
第5回	第二章 遺伝子とその働き ・遺伝子の本体 ・DNAの構造
第6回	第二章 遺伝子とその働き ・遺伝情報の複製と分配（・細胞周期・遺伝情報の複製・遺伝情報の分配）
第7回	第二章 遺伝子とその働き ・タンパク質 ・転写と翻訳 ・タンパク質の合成
第8回	第二章 遺伝子とその働き ・遺伝子とゲノム ・細胞内での遺伝子の発現
第9回	第三章 生物の体内環境 ・恒常性とは ・体液の種類 ・血液の成分と働き ・酸素の運搬 ・血液凝固
第10回	第三章 生物の体内環境 ・肝臓の働き ・体液の濃度調節（・浸透圧の調節・単細胞生物の調節・無脊椎動物の調節）
第11回	第三章 生物の体内環境 ・魚類にみられる体液の調節 ・ほ乳動物にみられる体液の調節（腎臓の働き）
第12回	第三章 生物の体内環境 ・免疫（・体液性免疫・細胞性免疫・アレルギー・予防接種と血清療法）
第13回	第三章 生物の体内環境 ・自律神経系と内分泌系（・ホルモンによる調節・自律神経による調節・共同調節）
第14回	第四章 バイオームの多様性と分布 ?生物の多様性とバイオーム ?バイオームの形成過程 ?バイオームとその分布
第15回	第五章 生態系とその保全 ・生態系の成り立ち（食物連鎖と栄養段階） ・物質循環とエネルギーの流れ（炭素、窒素の循環） ・生態系のバランスと保全 ・自然環境の保全
第16回	期末考査【50分間、5問】 5問については、講義最終回の折に出題分野を提示する。

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/06/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588015202	科目番号 / Subject code	05880152
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 04111_004		
授業科目名 / Subject	基礎生物 / Basic Biology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Target students	教育、医、歯、薬、環境科学部の1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	heykura10 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office			
担当教員TEL/Tel	095-800-6622		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて質問や要望を受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	高等学校において生物基礎を履修していない者、歯学部の場合はセンター試験において生物を利用して いない者に対して、高校の教科書を用いて講義を行う。		
授業到達目標/Course goals	教科書「高等学校生物基礎」の内容を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	15回の講義の終わり10分間で確認の小テストを実施する。各3点満点としその合計45点を平 常点とする。期末考査の得点を55点に換算して平常点の45点を加えて100点として評価する 。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法 ) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	高等学校「生物基礎」(第一学習社)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	教育学部、医学部、薬学部、環境科学部の1年生で高等学校において生物基礎を履修していない者 、あるいは歯学部1年生でセンター試験において生物を利用していない者。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	高校の教科書「生物基礎」に目を通し、常識的内容を理解し大学での専門的な生物関係の教科・科 目を学んでいく手がかり・足がかりとする。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第一章 生物の特徴 ?生物の多様性 ?生物の共通性と多様性の起源 ?生物の特性 ?細胞の多様性		

第2回	第一章 生物の特徴 ?細胞の構造にみられる共通性 ?代謝とATP ?ATPの構造と働き
第3回	第一章 生物の特徴 ?葉緑体も構造と色素 ?光エネルギーの吸収 ?光合成の過程
第4回	第一章 生物の特徴 ?ミトコンドリアと細胞質基質 ?呼吸の過程
第5回	第二章 遺伝子とその働き ?遺伝子の本体 ?DNAの構造
第6回	第二章 遺伝子とその働き ?遺伝情報の複製と分配 (・細胞周期・遺伝情報の複製・遺伝情報の分配)
第7回	第二章 遺伝子とその働き ?タンパク質 ?転写と翻訳 ?タンパク質の合成
第8回	第二章 遺伝子とその働き ?遺伝子とゲノム ?細胞内での遺伝子の発現
第9回	第三章 生物の体内環境 ?恒常性とは ?体液の種類 ?血液の成分と働き ?酸素の運搬 ?血液凝固
第10回	第三章 生物の体内環境 ?肝臓の働き ?体液の濃度調節 (・浸透圧の調節・単細胞生物の調節・無脊椎動物の調節)
第11回	第三章 生物の体内環境 ?魚類にみられる体液の調節 ?ほ乳動物にみられる体液の調節 (腎臓の働き)
第12回	第三章 生物の体内環境 ?免疫 (・体液性免疫・細胞性免疫・アレルギー・予防接種と血清療法)
第13回	第三章 生物の体内環境 ?自律神経系と内分泌系 (・ホルモンによる調節・自律神経による調節・共同調節)
第14回	第四章 バイオームの多様性と分布 ?生物の多様性とバイオーム ?バイオームの形成過程 ?バイオームとその分布
第15回	第五章 生態系とその保全 ?生態系の成り立ち (食物連鎖と栄養段階) ?物質循環とエネルギーの流れ (炭素、窒素の循環) ?生態系のバランスと保全 ?自然環境の保全
第16回	期末考査【50分間、5問】 5問については、講義最終回の折に出題分野を提示する。

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588015203	科目番号 / Subject code	05880152
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 04111_004		
授業科目名 / Subject	基礎生物 / Basic Biology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Target students	教育、医、歯、薬、環境科学部の1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	heykura10 yahoo.co.jp (メールを送信する際は @に 変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office			
担当教員TEL/Tel	095-800-6622		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて質問や要望を受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	高等学校において生物基礎を履修していない者、歯学部の場合はセンター試験において生物を利用 していない者に対して、高校の教科書を用いて講義を行う。		
授業到達目標/Course goals	教科書「高等学校生物基礎」の内容を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	15回の講義の終わり10分間で確認の小テストを実施する。各3点満点としその合計45点を平 常点とする。期末考査の得点を55点に換算して平常点の45点を加えて100点として評価する 。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法 )/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	高等学校「生物基礎」(第一学習社)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	教育学部、医学部、薬学部、環境科学部の1年生で高等学校において生物基礎を履修していない者 、あるいは歯学部1年生でセンター試験において生物を利用していない者。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	高校の教科書「生物基礎」に目を通し、常識的内容を理解し大学での専門的な生物関係の教科・科 目を学んでいく手がかり・足がかりとする。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第一章 生物の特徴 ?生物の多様性 ?生物の共通性と多様性の起源 ?生物の特性 ?細胞の多様性		

第2回	第一章 生物の特徴 ?細胞の構造にみられる共通性 ?代謝とATP ?ATPの構造と働き
第3回	第一章 生物の特徴 ?葉緑体も構造と色素 ?光エネルギーの吸収 ?光合成の過程
第4回	第一章 生物の特徴 ?ミトコンドリアと細胞質基質 ?呼吸の過程
第5回	第二章 遺伝子とその働き ?遺伝子の本体 ?DNAの構造
第6回	第二章 遺伝子とその働き ?遺伝情報の複製と分配 (・細胞周期・遺伝情報の複製・遺伝情報の分配)
第7回	第二章 遺伝子とその働き ?タンパク質 ?転写と翻訳 ?タンパク質の合成
第8回	第二章 遺伝子とその働き ?遺伝子とゲノム ?細胞内での遺伝子の発現
第9回	第三章 生物の体内環境 ?恒常性とは ?体液の種類 ?血液の成分と働き ?酸素の運搬 ?血液凝固
第10回	第三章 生物の体内環境 ?肝臓の働き ?体液の濃度調節 (・浸透圧の調節・単細胞生物の調節・無脊椎動物の調節)
第11回	第三章 生物の体内環境 ?魚類にみられる体液の調節 ?ほ乳動物にみられる体液の調節 (腎臓の働き)
第12回	第三章 生物の体内環境 ?免疫 (・体液性免疫・細胞性免疫・アレルギー・予防接種と血清療法)
第13回	第三章 生物の体内環境 ?自律神経系と内分泌系 (・ホルモンによる調節・自律神経による調節・共同調節)
第14回	第四章 バイオームの多様性と分布 ?生物の多様性とバイオーム ?バイオームの形成過程 ?バイオームとその分布
第15回	第五章 生態系とその保全 ?生態系の成り立ち (食物連鎖と栄養段階) ?物質循環とエネルギーの流れ (炭素、窒素の循環) ?生態系のバランスと保全 ?自然環境の保全
第16回	期末考査【50分間、5問】 5問については、講義最終回の折に出題分野を提示する。

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/05/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588015301	科目番号 / Subject code	05880153
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 03261_003		
授業科目名 / Subject	基礎数学 / Basic Mathematics		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生 (クラス等) / Target students	本講座の「基礎数学Q1」は主として大学入学前教育(数学講座)を受講した者を対象とします。それ以外は、「基礎数学Q2もしくはQ3」を受講してください。		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-nakagawa@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育棟新館「251号室」		
担当教員TEL/Tel	研究室095-819-2090		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日(13:00~17:00) 火曜日(13:00~17:00) 木曜日(13:00~17:00)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	高校学校で学ぶ微分積分の分野の基礎を固め、大学の学修への連携を図る。		
授業到達目標/Course goals	高等学校で身に付けておくべき微分積分の知識や活用力の定着を図る。また、大学で学ぶ初等関数(三角関数の逆関数や双曲線関数)の理解を深める。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	小テスト(確認テスト)、定期試験、授業への意欲・興味・関心など総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	微分積分の基礎力を身に着ける。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	入学前教育で使用した「微分積分ノート」を使用する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	15回の講義に毎回、出席すること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障害の除去及び合理的配慮の徹底に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-29448 (E-MALL)support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	当講座は、基本的に工学部の入学前教育の継続で開講しますが、それ以外の人を拒むものではありません。希望者がいれば、テキストを配布しますので事前に連絡ください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	1 . 平均値の定理 ~ 6 . 3次関数の極値
第2回	7 . 3次関数のグラフ ~ 9 . 方程式とグラフ
第3回	10 . 不定積分 ~ 13 . 定積分と微分
第4回	14 . 図形の面積 ~ 17 . $(ax + b)$ の累乗の積分
第5回	18 . 微分可能 ~ 22 . 指数関数の導関数
第6回	23 . 陰関数の導関数 ~ 25 . 様々な関数の導関数
第7回	26 . 曲線の接線 ~ 29 . 平均値の定理
第8回	30 . 4次関数の増減 ~ 34 . 分数関数
第9回	35 . 2次導関数と極値 ~ 40 . 不定積分 (置換積分)
第10回	41 . 不定積分 (部分積分) ~ 43 . 定積分
第11回	44 . 定積分 (置換積分) ~ 47 . 定積分 (置換積分)
第12回	48 . 定積分 (部分積分) ~ 51 . 図形の面積
第13回	52 . 立体の体積 ~ 55 . 曲線の長さ
第14回	三角関数の逆関数
第15回	双曲線関数
第16回	定期試験



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/06/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588015302	科目番号 / Subject code	05880153
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 03261_003		
授業科目名 / Subject	基礎数学 / Basic Mathematics		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生 (クラス等) / Target students	全学年 (基本的に経済学部のアオ入試で合格した人を対象にしています)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-nakagawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育棟新館「251号室」		
担当教員TEL/Tel	研究室095-819-2090		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日(13:00?17:00) 火曜日(13:00?17:00) 木曜日(13:00?17:00)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	高校学校で学ぶ数学 Tおよび数学A, 数学 Uおよび数学Bの分野を学習し、大学の学修への円滑な連携を図る。		
授業到達目標/Course goals	高等学校で身に付けておくべき数学の知識や活用力の定着を図る。また、大学で学ぶ初等数学の理解を深める。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents of the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	小テスト(確認テスト)、定期試験、授業への意欲・興味・関心など総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	高校数学の基礎力を身につける。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	開講時に配布する「テキスト」を使用する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	15回の講義に毎回、出席すること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障害の除去及び合理的配慮の徹底に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-29448 (E-MALL)support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	基本的に経済学部のアオ入試で合格した人を対象としています。高等学校で学ぶ数学の総復習を行います。意欲のある人の受講を望みます。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	1 . 2次関数とグラフ
第2回	2 . 三角比の基本性質
第3回	3 . データの分析
第4回	4 . 順列と組み合わせ
第5回	5 . 確率の計算
第6回	6 . 約数と倍数
第7回	7 . 2次方程式
第8回	8 . 整式の除法
第9回	9 . 因数定理と高次方程式
第10回	10 . 三角関数の基本性質
第11回	11 . 指数・対数関数
第12回	12 . 微分と導関数
第13回	13 . 関数の極大極小
第14回	14 . 積分
第15回	15 面積
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/21		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588015303	科目番号 / Subject code	05880153
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 03261_003		
授業科目名 / Subject	基礎数学 / Basic Mathematics		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Target students	全学年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	y-nakagawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	教育棟新館「251号室」		
担当教員TEL / Tel	研究室095-819-2090		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日(13:00~17:00) 火曜日(13:00~17:00) 木曜日(13:00~17:00)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	高校学校で学ぶ微積分の分野の基礎を固め、大学の学修への連携を図る。		
授業到達目標 / Course goals	高等学校で身に付けておくべき微積分の知識や活用力の定着を図る。また、大学で学ぶ初等関数 (三角関数の逆関数や双曲線関数)の理解を深める。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	小テスト (確認テスト)、定期試験、授業への意欲・興味・関心など総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	微積分の基礎力を身に付ける		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	開講時に配布する「微積分ノート」を使用する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	15回の講義に毎回、出席すること。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障害の除去及び合理的配慮の徹底に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員 (上記連絡先) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談ください。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-29448 (E-MALL)support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	高等学校で学ぶ微積分の分野 (数学 U と数学 V) の総復習と大学で学ぶ微積分学のつなぎを 学びます。意欲のある人の受講を望みます。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	1 . 平均値の定理 ~ 6 . 3 次関数の極値
第 2 回	7 . 3 次関数のグラフ ~ 9 . 方程式とグラフ
第 3 回	1 0 . 不定積分 ~ 1 3 . 定積分と微分
第 4 回	1 4 . 図形の面積 ~ 1 7 . $( a x + b )$ の累乗の積分
第 5 回	1 8 . 微分可能 ~ 2 2 . 指数関数の導関数
第 6 回	2 3 . 陰関数の導関数 ~ 2 5 . 様々な関数の導関数
第 7 回	2 6 . 曲線の接線 ~ 2 9 . 平均値の定理
第 8 回	3 0 . 4 次関数の増減 ~ 3 4 . 分数関数
第 9 回	3 5 . 2 次導関数と極値 ~ 4 0 . 不定積分 ( 置換積分 )
第 1 0 回	4 1 . 不定積分 ( 部分積分 ) ~ 4 3 . 定積分
第 1 1 回	4 4 . 定積分 ( 置換積分 ) ~ 4 7 . 定積分 ( 置換積分 )
第 1 2 回	4 8 . 定積分 ( 部分積分 ) ~ 5 1 . 図形の面積
第 1 3 回	5 2 . 立体の体積 ~ 5 5 . 曲線の長さ
第 1 4 回	三角関数の逆関数
第 1 5 回	双曲線関数
第 1 6 回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/05/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588015401	科目番号 / Subject code	05880154
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 02811_002		
授業科目名 / Subject	基礎英語 / Basic English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生 (クラス等) / Target students	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	skaneko mxb.cncm.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	095-845-0369		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日 15時45分? 16時05分非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	<p>高校英語の既習事項に習熟し、大学英語に対応できる基礎力・運用力を養成し大学英語への橋渡しとすることをねらいとする。テキストを使って使用頻度の高い基本構文、熟語、語法、文法、語彙力を身につける。これらの基礎力に基づき、パラグラフリーディング・精読演習を通して読解の基礎力養成に努める。また、音読を行い聞き取りの基礎を学ぶ。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>(1) 高等学校までの既習の基本構文、語法、文法、熟語、語彙等を習得し運用できるようになる。</p> <p>(2) 英文の大意把握、評論文の読み方に習熟し、大学英語や専門課程で使用する教科書、資料を精読し、内容を理解できるようになる。</p> <p>(3) 強勢、イントネーション、区切りなどの基本的な聞き取りとともに、情報の意味・内容や話し手の意図を理解できるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Grading	(1) 定期考査 60% (2) 中間テスト 30% (3) 授業中活動、課題等を評価に加える (小テストを含む) 10%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>(1) 頻出構文・頻出文法事項・長文プリント等の予習プリントを配付し演習・講義の準備を支援する。</p> <p>(2) 小テスト等で既習事項の定着を図る。</p>		
キーワード / Key word	基本的な構文、文法、語法、熟語、長文の読み方の習熟		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	英語構文 (2週間完成) (日英社) (学内書店にて販売) 頻出構文、頻出文法事項 + 長文プリントを基本的に毎時配付する。 英語辞書を授業時に持参すること。授業用ノートを持参すること。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	全回出席を原則とする。英語辞書、ノートを持参すること。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	本授業は基本事項の再確認と応用力の養成、併せて高等学校における英語受講時間数の都合で未習範囲がある場合に対応できるように、丁寧な講義、演習、資料学習とし、大学英語へ円滑に移行できるように工夫・構成します。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	オリエンテーション(授業の進め方について) 英語基礎テスト(Evaluation Test)を実施する。 (1) Itを中心とした構文	A B
第2回	(2) 助動詞を使った構文 小テスト(前時学習内容確認テスト)以下各回同様 プリント教材 (パラグラフの基本的な構造)	A B
第3回	(3) 不定詞を使った構文 小テスト Paragraph-1(プリント)演習 以下各回同様	A B
第4回	(4) 動名詞を使った構文 小テスト Paragraph-2(プリント)	A B
第5回	(5) 分詞を使った構文 小テストParagraph-3(プリント)	A B
第6回	(6) 第5文型の構文 小テスト Paragraph-4(プリント)	A B
第7回	(7) 比較構文 小テストParagraph-5(プリント)	A B
第8回	中間試験(第1回6回の学習内容から出題する)	A
第9回	(9) 時を表す構文 小テスト Paragraph-6(プリント)	A B
第10回	(10) 関係詞を使った構文 小テストParagraph-7(プリント)	A B
第11回	(11) 条件・仮定を表す構文 小テスト Paragraph-8(プリント)	A B
第12回	(12) 譲歩を表す構文 小テスト Paragraph-9(プリント)	A B
第13回	(13) 相関関係を表す構文 小テスト Paragraph-10(プリント)	A B
第14回	(14) 否定構文 小テスト Paragraph-11(プリント)	A B
第15回	(15) その他の構文(プリント) 小テストParagraph-12(プリント)	A B
第16回	定期試験(中間試験以降15回の学習内容から出題する)	A

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/06/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588015402	科目番号 / Subject code	05880154
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 02811_002		
授業科目名 / Subject	基礎英語 / Basic English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生 (クラス等) / Target students	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	skaneko mxb.cncm.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-845-0369		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 15時45分? 16時05分非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	高校英語の既習事項に習熟し、大学英語に対応できる基礎力・運用力を養成し大学英語への橋渡しとすることをねらいとする。テキストを使って使用頻度の高い基本構文、熟語、語法、文法、語彙力を身につける。これらの基礎力に基づき、パラグラフリーディング・精読演習を通して読解の基礎力養成に努める。また、音読を行い聞き取りの基礎を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	(1) 高等学校までの既習の基本構文、語法、文法、熟語、語彙等を習得し運用できるようになる。 (2) 英文の大意把握、評論文の読み方に習熟し、大学英語や専門課程で使用する教科書、資料を精読し、内容を理解できるようになる。 (3) 強勢、イントネーション、区切りなどの基本的な聞き取りとともに、情報の意味・内容や話し手の意図を理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	(1) 定期考査 50% (2) 中間テスト 30% (3) 授業中活動、課題等を評価に加える (小テストを含む) 20%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	(1) 頻出構文・頻出文法事項・長文プリント等の予習プリントを配付し演習・講義の準備を支援する。 (2) 小テスト等で既習事項の定着を図る。		
キーワード/Key word	基本的な構文、文法、語法、熟語、長文の読み方の習熟		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	英語構文 (2週間完成) (日英社) (学内書店にて販売) 頻出構文、頻出文法事項 + 長文プリントを基本的に毎時配付する。 英語辞書を授業時に持参すること。授業用ノートを持参すること。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	全回出席を原則とする。英語辞書、ノートを持参すること。		
アクセシビリティ /Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	本授業は基本事項の再確認と応用力の養成、併せて高等学校における英語受講時間数の都合で未習範囲がある場合に対応できるように、丁寧な講義、演習、資料学習とし、大学英语へ円滑に移行できるように工夫・構成します。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	オリエンテーション(授業の進め方について) 英語基礎テスト(Evaluation Test)を実施する。 (1) Itを中心とした構文	A B
第2回	(2) 助動詞を使った構文 小テスト(前時学習内容確認テスト)?以下各回同様? プリント教材(パラグラフの基本的な構造)	A B
第3回	(3) 不定詞を使った構文 小テスト ?Paragraph-1(プリント)演習?以下各回同様?	A B
第4回	(4) 動名詞を使った構文 小テスト ?Paragraph-2(プリント)	A B
第5回	(5) 分詞を使った構文 小テスト ?Paragraph-3(プリント)	A B
第6回	(6) 第5文型の構文 小テスト ?Paragraph-4(プリント)	A B
第7回	(7) 比較構文 小テスト ?Paragraph-5(プリント)	A B
第8回	中間試験(第1回?6回の学習内容から出題する)	A
第9回	(9) 時を表す構文 小テスト ?Paragraph-6(プリント)	A B
第10回	(10) 関係詞を使った構文 小テスト ?Paragraph-7(プリント)	A B
第11回	(11) 条件・仮定を表す構文 小テスト ?Paragraph-8(プリント)	A B
第12回	(12) 譲歩を表す構文 小テスト ?Paragraph-9(プリント)	A B
第13回	(13) 相関関係を表す構文 小テスト ?Paragraph-10(プリント)	A B
第14回	(14) 否定構文 小テスト ?Paragraph-11(プリント)	A B
第15回	(15) その他の構文(プリント) 小テスト ?Paragraph-12(プリント)	A B
第16回	定期試験(中間試験以降?15回の学習内容から出題する)	A



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588015403	科目番号 / Subject code	05880154
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 02811_002		
授業科目名 / Subject	基礎英語 / Basic English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生 (クラス等) / Target students	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	skaneko mxb.cncm.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-845-0369		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 15時45分? 16時05分非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	高校英語の既習事項に習熟し、大学英語に対応できる基礎力・運用力を養成し大学英語への橋渡しとすることをねらいとする。テキストを使って使用頻度の高い基本構文、熟語、語法、文法、語彙力を身につける。これらの基礎力に基づき、パラグラフリーディング・精読演習を通して読解の基礎力養成に努める。また、音読を行い聞き取りの基礎を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	(1) 高等学校までの既習の基本構文、語法、文法、熟語、語彙等を習得し運用できるようになる。 (2) 英文の大意把握、評論文の読み方に習熟し、大学英語や専門課程で使用する教科書、資料を精読し、内容を理解できるようになる。 (3) 強勢、イントネーション、区切りなどの基本的な聞き取りとともに、情報の意味・内容や話し手の意図を理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	(1) 定期考査 50% (2) 中間テスト 30% (3) 授業中活動、課題等を評価に加える (小テストを含む) 20%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	(1) 頻出構文・頻出文法事項・長文プリント等の予習プリントを配付し演習・講義の準備を支援する。 (2) 小テスト等で既習事項の定着を図る。		
キーワード/Key word	基本的な構文、文法、語法、熟語、長文の読み方の習熟		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	英語構文 (2週間完成) (日英社) (学内書店にて販売) 頻出構文、頻出文法事項 + 長文プリントを基本的に毎時配付する。 英語辞書を授業時に持参すること。授業用ノートを持参すること。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	全回出席を原則とする。英語辞書、ノートを持参すること。		
アクセシビリティ /Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	本授業は基本事項の再確認と応用力の養成、併せて高等学校における英語受講時間数の都合で未習範囲がある場合に対応できるように、丁寧な講義、演習、資料学習とし、大学英語へ円滑に移行できるように工夫・構成します。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	オリエンテーション(授業の進め方について) 英語基礎テスト(Evaluation Test)を実施する。 (1) Itを中心とした構文	A B
第2回	(2) 助動詞を使った構文 小テスト(前時学習内容確認テスト)以下各回同様 プリント教材 (パラグラフの基本的な構造)	A B
第3回	(3) 不定詞を使った構文 小テスト Paragraph-1(プリント)演習 ?以下各回同様?	A B
第4回	(4) 動名詞を使った構文 小テスト Paragraph-2(プリント)	A B
第5回	(5) 分詞を使った構文 小テストParagraph-3(プリント)	A B
第6回	(6) 第5文型の構文 小テスト Paragraph-4(プリント)	A B
第7回	(7) 比較構文 小テスト Paragraph-5(プリント)	A B
第8回	中間試験(第1回~6回の学習内容から出題する)	A
第9回	(9) 時を表す構文 小テスト Paragraph-6(プリント)	A B
第10回	(10) 関係詞を使った構文 小テスト Paragraph-7(プリント)	A B
第11回	(11) 条件・仮定を表す構文 小テスト Paragraph-8(プリント)	A B
第12回	(12) 譲歩を表す構文 小テスト Paragraph-9(プリント)	A B
第13回	(13) 相関関係を表す構文 小テスト Paragraph-10(プリント)	A B
第14回	(14) 否定構文 小テストParagraph-11(プリント)	A B
第15回	(15) その他の構文(プリント) 小テストParagraph-12(プリント)	A B
第16回	定期試験(中間試験以降15回の学習内容から出題する)	A

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180588020901	科目番号 / Subject code	05880209
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 22111_032		
授業科目名 / Subject	English for Specific Purposes (A) / English for Specific Purposes (A)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 雅子 / Matuda Masako		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Target students	全クラス		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hijimasako yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日 4時間目		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	トイックのリーディングセクションの問題の解法に慣れ、さらに、多読によってトイックに対応できる読解力を高める。3 STEP CALL SYSTEMの練習によって、リスニング力を養う		
授業到達目標 / Course goals	1学期中に2 - 3回、トイックテストを受け、最終的に600点を取ることをめざす		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	期末試験 60%、小テスト 20%、授業への参加 20%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	1) 3 STEP CALL SYSTEMでしっかりリスニングの練習を行う。 2) 図書館で英語の多読用のやさしい本を借りて、1学期間に10冊読了する		
キーワード / Key word	トイックテスト、リーディング、多読		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	TOEICテスト公式プラクティスリーディング編 (国際ビジネスコミュニケーション協会) 多読用: 外国人が見た「何これ!?ニッポン」 (マクミラン)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	トイックの得点は資格の一つです。資格取得をめざして、授業外でも意欲を持って、リスニング、リーディングに取り組むことができるのが、要件です。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	資格をめざしてがんばろう		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	オリエンテーション、教科書Unit 1、多読用教科書
第2回	教科書Unit 1、多読用教科書
第3回	教科書Unit 2、多読用教科書
第4回	教科書Unit 2、多読用教科書
第5回	教科書Unit 3、多読用教科書
第6回	教科書Unit 3、多読用教科書
第7回	教科書Unit 4、多読用教科書
第8回	教科書Unit 4、多読用教科書
第9回	教科書Unit 5、多読用教科書
第10回	教科書Unit 5、多読用教科書
第11回	教科書Unit 6、多読用教科書
第12回	教科書Unit 6、多読用教科書
第13回	教科書Unit 7、多読用教科書
第14回	教科書Unit 7、多読用教科書
第15回	教科書Unit 8、多読用教科書
第16回	期末試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180588021001	科目番号 / Subject code	05880210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 22111_032		
授業科目名 / Subject	English for Specific Purposes (B) / English for Specific Purposes (B)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 雅子 / Matuda Masako		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Target students	全クラス		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hijimasako yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	トイックのリーディングセクションの問題の解法に慣れ、さらに、多読によってトイックに対応できる読解力を高める。3 STEP CALL SYSTEMの練習によって、リスニング力を養う		
授業到達目標/Course goals	1学期中に2 - 3回、トイックテストを受け、最終的に700点を取ることをめざす		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	期末試験 60%、小テスト 20%、課外学習 20%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	1) 3 STEP CALL SYSTEMでしっかりリスニングの練習を行う。 2) 図書館で英語の多読用のやさしい本を借りて、1学期間に10冊読了する		
キーワード/Key word	トイック、リーディング、多読、リスニング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 新TOEICテスト730点 (アルク) 小山克明著 多読用: キャンプファイアー怪談集 (マクミラン)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	トイックの得点は資格の一つです。資格取得をめざして、授業外でも意欲を持って、リスニング、リーディングに取り組むことが、要件です。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	資格をめざしてがんばろう		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション、教科書 Unit 1、多読用教科書
第2回	教科書 Unit 1、多読用教科書
第3回	教科書 Unit 2、多読用教科書
第4回	教科書 Unit 2、多読用教科書
第5回	教科書 Unit 3、多読用教科書
第6回	教科書 Unit 3、多読用教科書
第7回	教科書 Unit 4、多読用教科書
第8回	教科書 Unit 4、多読用教科書
第9回	教科書 Unit 5、多読用教科書
第10回	教科書 Unit 5、多読用教科書
第11回	教科書 Unit 6、多読用教科書
第12回	教科書 Unit 6、多読用教科書
第13回	教科書 Unit 7、多読用教科書
第14回	教科書 Unit 7、多読用教科書
第15回	教科書 Unit 8、多読用教科書
第16回	期末試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588022101	科目番号 / Subject code	05880221
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 15811_002		
授業科目名 / Subject	社会生活における情報活用術 / Applications of ICT in Social Life		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 一藤 裕 / Ichifuji Yu, 上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 一藤 裕 / Ichifuji Yu, 上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Target students	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	k-niwa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	ICT基盤センター 2階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2084		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日13:00 ~ 16:00 (事前に電子メールで教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	現代の情報社会を生き抜いていくためには、必要な情報を的確に収集・分析し、適切に加工・発信するスキルを身につけることが必要である。本科目では、情報科学科目「情報基礎」で学んだ知識と技能を発展させて、断片的な情報を統合し、それらの価値を増幅させる能力を習得させることを目的としている。 情報の可視化技法や文書作成技法などの実践的な技能を身につけるとともに、プログラミング演習により表計算ソフトの関数がどのように計算処理されているかを理解する。また、さまざまな情報を生成し消去に至る過程に着目したとき、情報セキュリティの視点からこれらの情報を適切に取り扱う方法について学習する。		
授業到達目標 / Course goals	デジタル文書作成技法を理解し、整った報告書(レポート)を効率的に作成できる。 表計算技法を理解し、数値データのデータ分析に応用し、その結果をグラフ等で表現できる。 情報セキュリティの基本的な考え方や技術の概要を説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	授業中の演習課題および授業時間外に課す予習・復習・レポートの提出状況とその内容を総合的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	授業で指示する。		
キーワード / Key word	デジタル文書作成技法、表計算技法、情報セキュリティ、プログラミング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	【教科書・教材】 LACS上で提供する教材。 【参考書】 [1] 高杉尚孝: 『論理表現力』, 日本経済新聞社, 2010年6月。 [2] テクニカルコミュニケーター協会: 『日本語スタイルガイド 第2版』, テクニカルコミュニケーター協会, 2011年4月。 [3] 古郡延治: 『論文・レポートの文章作成技法 論理の文章術』, 日本エディタースクール出版部, 2006年3月。 [4] 富士通エフ・オーエム株式会社: 『Microsoft Office Specialist Microsoft Word 2016対策テキスト&問題集』, FOM出版, 2017年3月。 [5] 富士通エフ・オーエム株式会社: 『Microsoft Office Specialist Microsoft Excel 2016対策テキスト&問題集』, FOM出版, 2017年3月。 [6] クリストファー・ハドナジー著、成田光彰訳、「ソーシャル・エンジニアリング」、日経BP社、2012年11月 [7] 情報科学科目「情報基礎」のテキスト		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	全回出席を原則とする。やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。授業中だけでなく、授業時間外においても、課題および予習・復習等に取り組むこと。授業には必ずノートパソコンを持参すること。初回授業より利用する。
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) / Remarks (URL)	<a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp</a>
学生へのメッセージ / Message for students	本科目では、予習 授業 復習による学習サイクルを確実に実施することが欠かせない。この学習サイクルを確実に行うことで、本科目の学習内容がただ難解なコンピュータの話などではなく、私たちの生活全般にかかわる身近な事柄であることを学びとってもらいたい。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【ガイダンス】 この科目の概要、目的、目標、内容、進め方、評価方法について説明する。 情報科学科目「情報基礎」の授業内容に関連した復習課題を指示する。 【文書作成技法(1/2)】以下の内容を2回に分けて取り上げる。 読者に誤解が生じないように文章表現を明瞭にすることは重要である。文書作成技法の一つとして、論理展開に対応した文の接続に重点を置いて、文書構造を意識して助詞や接続詞を使い分ける方法について講義する。関連する新聞記事等を取り上げた演習により、論理展開に沿った適切な文の接続について考える。 また、一連の文書作成作業を容易にかつ効率的に作業するスキルも備えておくべきである。文書データの構造化を意識した文書作成ソフトの活用方法として、Microsoft Wordの機能(校閲機能、検索・置換等)を取り上げて、共同作業を交えながら演習課題に取り組んでいく。
第2回	【文書作成技法(2/2)】
第3回	【情報社会の安全を脅かす脅威の数々(1/2)】 (独)情報処理推進機構が毎年発行している「10大脅威」を題材として、ICTなどの安全な利活用を阻害する技術的な脅威の最新トレンドを学習する。
第4回	【情報社会の安全を脅かす脅威の数々(2/2)】
第5回	【分析のための可視化(1/2)】以下の内容を2回に分けて取り上げる。 さまざまな情報の特徴等を考察する際、それらを視覚的に表現することは理解を助けるために有効な手段である。 各回の授業では、情報の変換、グラフを用いた分析、グラフ作成の原則についての講義を行い、可視化の重要性について理解を深める。 Microsoft Excelによるグラフ(円グラフ、組み合わせグラフ、散布図等)の描画法を習得した後、与えられた課題の目的に応じて、データ群をどのように可視化するのがよいかを考える発展課題に取り組む。
第6回	【分析のための可視化(2/2)】
第7回	【情報を守る技術の基礎(1/2)】 最近利用されている代表的な情報セキュリティ技術として、暗号、デジタル署名、認証についてその技術的な手法を学ぶとともに、安全性の根拠の概要を学ぶ。
第8回	【情報を守る技術の基礎(2/2)】
第9回	【表計算技法(1/2)】以下の内容を2回に分けて取り上げる。 Microsoft Excelを使って数値データの関連性を分析する手法を学ぶ。 たとえば、「相関係数」や「単回帰分析」を取り上げて三つの方法(数式を設定、関数を利用、分析ツールを利用)により計算処理を行う。
第10回	【表計算技法(2/2)】
第11回	【ソーシャルエンジニアリングに見る人間のセキュリティ(1/2)】 人間の心理的な脆弱性を突いて、情報を入手したり、破壊したりしようとする攻撃手法「ソーシャルエンジニアリング」がどのように行われるかを学習し、攻撃から身を守るための術を考える。
第12回	【ソーシャルエンジニアリングに見る人間のセキュリティ(2/2)】
第13回	【プログラミング(1/2)】以下の内容を2回に分けて取り上げる。 Microsoft Excelで学んだ統計解析をR言語を使ってもできることを演習を通じて確認し、プログラミングへの理解を深める。
第14回	【プログラミング(2/2)】
第15回	【プログラミングの解説および復習】 授業で取り上げた関数や課題について解説を行い、プログラミング作成のための理解を深めるとともに発展課題に取り組む。



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/21		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588022301	科目番号 / Subject code	05880223
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 15821_002		
授業科目名 / Subject	市民社会と法 / Civil Society and Law		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	この授業では市民社会の法とも呼ばれる民法のうち、財産の取引に関する基礎的な事項を学ぶ。 私たちはお金を払って物を買ひ(売買契約)、それを自分の物として自由に使う(所有権)。しかし、 お金を払ったのに物を引き渡してもらえなかったらどうしよう?(債務不履行) また、せっかく買った物を友人がうっかり壊してしまったら?(不法行為) これらは全て民法が規律している。授業では教科書に従って不動産売買契約を例にとり、契約の締結から履行までの過程で起こる法的問題や、履行されなかったときの法的処理などを学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	民法の基礎的事項が理解できるようになる。 法的な思考力を身につけて取引社会でのトラブルに対処できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	定期試験(70%)と小テスト(30%)による		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	教科書を読むこと		
キーワード/Key word	民法		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 米倉明 『プレップ民法(第5版)』 弘文堂		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識を関連づけるよう心がけてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	法とは、民法の基本構造		
第2回	契約の締結から履行まで		
第3回	所有権の移転、不動産登記		

第 4 回	不動産の二重譲渡 1
第 5 回	不動産の二重譲渡 2
第 6 回	債権譲渡
第 7 回	債務不履行と損害賠償
第 8 回	不法行為と損害賠償
第 9 回	契約の解除
第 10 回	瑕疵担保責任
第 11 回	債権者代位権
第 12 回	債権者取消権
第 13 回	契約の主体、意思表示の瑕疵
第 14 回	代理
第 15 回	総復習
第 16 回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588022401	科目番号 / Subject code	05880224
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	環境経済学 / Environmental Economics		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小松 悟 / Satoru Komatsu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小松 悟 / Satoru Komatsu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小松 悟 / Satoru Komatsu		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Target students	学部学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	skomatsu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	総合教育研究棟11階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて事前にアポイントを取ること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	本講義は、環境問題に対処する際に経済学的アプローチを通じて解決を目指す環境経済学の考え方 や手法を理解することを目的としています。地球規模で発生する気候変動や生物多様性の問題、大 気汚染やごみ問題といった身近な問題まで様々な問題が発生しています。同時にこれまでに解決に つながっている環境問題も発生しています。どうして環境問題が発生したのか、そしてどうしたら 環境問題を解決できるようになるでしょうか。 環境問題の背景には、環境を守るためには多額の費用が掛かるにもかかわらず、多額の費用をかけ ても環境改善便益を自分自身が得られないという面があります。		
授業到達目標/Course goals	本講義を通じて、受講生は環境問題の背景や発生原因を理解することができます。そして環境問題 を解決するための道筋を理解することが求められます。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	プレゼンテーションとフィードバック、授業参加度：40点 中間試験：30点 期末試験：30点 合計100点のうち60点以上を合格とする。6回以上欠席した場合の成績はK(欠席)となる。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回教科書の指定された箇所を、事前に読んでおくことが求められます。図書館で該当箇所をコピ ーするのも良いが、教科書を購入することを強く薦めます。プレゼンテーションの準備やフィ ードバックも求めます。		
キーワード / Key word	環境経済、環境評価、環境政策		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書： 栗山浩一・馬奈木俊介「環境経済学をつかむ」第3版、有斐閣、2016年(複数冊図書館に所蔵するこ とが望ましい)  参考書： 栗山浩一(他)「初心者のための環境評価入門」、勁草書房、2013年 馬奈木 俊介(編)「エネルギー経済学」、中央経済社、2014年 Barry C/ Field, Martha K. Field, 2016, Environmental economics: an introduction, 7th edition, McGraw-Hill Education Robert N. Stavins (ed.) 2012, Economics of the Environment: Selected Readings, 6th edition, W. W. Norton & Company		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	授業中は適宜発言を求めますので、積極的に参加することを強く推奨します。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	進捗に応じて随時変更します。 イントロダクション 経済発展と環境問題
第2回	ごみ問題と循環型社会
第3回	地球環境問題
第4回	外部性と市場の失敗
第5回	共有資源管理と公共財
第6回	直接規制、環境税と補助金
第7回	コースの定理
第8回	排出量取引、中間試験
第9回	環境政策の選択
第10回	環境の価値評価 ( 1 ) 顕示選好法
第11回	環境の価値評価 ( 2 ) 表明選好法
第12回	企業の社会的責任、社会貢献、ESG
第13回	持続可能な開発目標 ( SDG )
第14回	エネルギー経済
第15回	講義のまとめ、期末試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/06/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588022501	科目番号 / Subject code	05880225
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 15831_002		
授業科目名 / Subject	自己表現法 / Self-Expression Methods		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	矢野 香 / Yano Kaori		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Target students	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kyano nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	地域教育総合支援センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2101		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールか電話でアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	日々私たちは自分の考えや思いを様々な表現手段によって伝えながら、コミュニケーションをとっています。 人間関係作りや円滑なコミュニケーションを行うためには、これら自分を表現する自己表現スキルを理解し、自由に操れることが大事です。 心理学をもとにコミュニケーション論について学びながら、「話す」「聞く」「書く」といった表現力、そしてそのために必要な「考える力」を育成します。		
授業到達目標/Course goals	(1) 目的に応じた他者とのコミュニケーションをとるために、自分の表現スキルについて計画を立てることができる。 (2) 他者を観察することで理解し、他者との比較によって自己を客観的に分析することができる。 (3) グループの中で自分の意見や考えを主張し、チームで共修・協働しながら意見をまとめることができる。 (4) 言語表現・非言語表現のスキルを使って、情報や自分の思いを伝えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	授業外課題、授業内活動(グループワーク・プレゼンテーション)、レポートを合計して評価し、60点以上を合格とする。 なお、授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習復習課題として作成したレポートやパワーポイント、動画などをLACSより提出してもらいます。		
キーワード/Key word	自己表現、コミュニケーション、スピーチ、プレゼンテーション、キャリア、アカデミックスキル		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	必要に応じて資料を配布する、または参考文献を提示する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	講義中のワークに主体的に取り組む態度が身につけていること。 自分の考えをまとめ、表現しようという意欲があること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	コミュニケーションを体感するための自己表現ワークが中心の講義です。 「もともとコミュニケーションをとること、人前に行くことは得意だ」という方はもちろん、「もしかして自分ってコミュ障？」と思っている方も歓迎です。 これからの大学生活に必要な自己表現力を身に付けることで、新しい自分の未来を切り拓いていきましょう！
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	6月6日（水） オリエンテーション 社会に出る前に身に付けておくべき表現スキルとは？
第2回	6月6日（水） 自己表現とは？ 「私らしさ」って？自己分析
第3回	6月13日（水） コミュニケーションのコツ 自己理解・他者理解
第4回	6月13日（水） 言語表現と非言語表現
第5回	6月20日（水） 言語表現 読む・書く～レポートからメールまで
第6回	6月20日（水） 言語表現 話す・伝える
第7回	6月27日（水） 非言語表現 ～表情、視線、ジェスチャー
第8回	6月27日（水） 非言語表現 ～距離、動作、音声表現
第9回	7月4日（水） わかりやすい表現とは？ ～マスメディア論・アナウンス概論
第10回	7月4日（水） 自分らしい表現とは？ ～ブレインストーミング・身体表現論
第11回	7月8日（日）3限 集中講義 注意 場所:スカイホール プレゼンテーション実習
第12回	7月8日（日）4限 集中講義 注意 場所:スカイホール プレゼンテーション実習
第13回	7月8日（日）5限 集中講義 注意 場所:スカイホール プレゼンテーション実習
第14回	7月11日（水） 聴衆の心をつかむリーダーの伝え方
第15回	7月11日（水） まとめ

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/05/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588022601	科目番号 / Subject code	05880226
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	法学 / Introduction to Law		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	東 史彦 / Fumihiko Azuma		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	東 史彦 / Fumihiko Azuma		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	東 史彦 / Fumihiko Azuma		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Target students	すべての学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	fazuma nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	総合教育研究棟11階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2925		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水 / Wed4		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	本講義は、法学の基礎の習得を目的とし、法学・民法・刑法、および憲法の基本事項の講義を行います。		
授業到達目標 / Course goals	法律がどのような目的のもと、どのような仕組みで働き、主にどのような分野のものがあるか、理解することを目標とします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	授業参加度 (15%)、試験 (85%) によりますが、積極的な受講態度による加点と、私語による減 点があります。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事後学習を行ってください。講義資料 (レジュメ、ノート) を見返し、重要な点は何だったか、疑 問点がないかを確認してください。疑問が解けない場合、講師に質問してください。		
キーワード / Key word	法学、民法、刑法、憲法		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	高乗正臣他著『プラクティス法学実践教室 T (法学・民法・刑法編) (第5版)』成文堂 2015年 池田真朗『法学六法'18』信山社 2017年		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	法学の未修者を対象としていますので、とくに履修条件はありません。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	日常生活や国際社会の規律の基礎となる法律とは何かについて、基本的な事項を勉強していきましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス、法学1: 法の概念、法の分類		
第2回	法学2: 法の効力、解釈と適用		

第3回	法学3：裁判制度
第4回	民法1：民法の基本原則、権利の主体、権利の客体
第5回	民法2：法律行為、代理、条件・期限・期間、時効
第6回	民法3：物権、契約
第7回	民法4：不法行為、親族・相続
第8回	刑法1：刑法と特別刑法、刑法の適用範囲
第9回	刑法2：犯罪の意義と構成要件、違法性
第10回	刑法3：責任、錯誤
第11回	刑法4：因果関係、刑の量定と免除
第12回	憲法 ①：基本原則
第13回	憲法 A：統治機構
第14回	憲法 B：人権
第15回	試験



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/05/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588022701	科目番号 / Subject code	05880227
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 15842_032		
授業科目名 / Subject	Asia and Japan in Modern and Contemporary History / Asia and Japan in Modern and Contemporary History		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	cmplrad@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office			
担当教員TEL / Tel	2944		
担当教員オフィスアワー / Office hours	Thu 12:00-12:50 (arrangement by e-mail is preferred)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	'This course aims to provide students with introductory information about the history of modern Okinawa. Okinawan past abounds with happenings which defy the traditional understanding of Japanese and East Asian history. The objective is, therefore, to delve into such issues and reveal the historicity of the modern state system in Asia through Okinawan local experience.		
授業到達目標 / Course goals	'1) To gain basic knowledge about Okinawa and its relations with Japan and other countries. 2) To reflect about contemporary events within their historical and socio-political context. 3) To promote one's consciousness of multiculturalism and sensitivity towards cultural differences.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	Class participation 20% Report and presentation 30% Final report or exam 50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	All students will have to do their reading assignments before the next class.		
キーワード / Key word	Okinawa, Japanese modern history, politics, multiculturalism in Japanese context, Asia		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	There is no textbook, but the main reference material is below: Kerr, George. Okinawa: The History of an Island People. Boston: Tuttle Publishing, 2000.		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	The quota is maximum 14 students. This course will be conducted in English language but students will also have to refer to Japanese materials for translation and in their own research and preparation for classes.		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	'Be ambitious! (for the attainment of all that a man can be.)' William J. Clark in 1877		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1月16日	1 Orientation 2 Ancient Ryukyus 3 Medieval Ryukyus 4 Pre-modern Japan and Okinawa 5 Formation of modern state in Asia 6 Modernization 7 Interwar Japan and Okinawa 8 Battle of Okinawa 9 Early postwar period 10 The "San Francisco System" 11 Land struggles and "normalization" 12 Movement for reversion 13 Reversion of Okinawa 14 Post-reversion Okinawa 15 Local identity in the age of globalization 16 Final exam or report

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/05/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588022801	科目番号 / Subject code	05880228
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 15852_032		
授業科目名 / Subject	Globalization and Health in Nagasaki / Japan / Globalization and Health in Nagasaki/Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	平野 裕子 / Yuko Ohara-HIRANO		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	平野 裕子 / Yuko Ohara-HIRANO		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	平野 裕子 / Yuko Ohara-HIRANO		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Target students	Everybody who wish to take this class is welcome, unless he/she has a high English proficiency to understand the classes given in English.		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hirano nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	Department of Health Sciences, Faculty of Medicine		
担当教員TEL/Tel	095-819-7940		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Appointment should be made.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	Nagasaki is a city that confronts the challenges to accept people ? including children, mothers, workers, aged and challenged ? of those who are in different life-circle, social settings, and health status. Such diversity of the people in Nagasaki city, in a sense, is a key to create a sustainable community, which is particularly important in the global settings.  In this course, which final goal is to obtain a basic knowledge to create a healthy community in Nagasaki, a conceptual framework of eco-health, which is tolerant to physically, mentally, and socially diverse community, will be provided. Such framework will be carefully studied multi-disciplinary, and will be approached by both global and local perspectives.		
授業到達目標/Course goals	1.To explain the concept of health, family, and community in the global settings 2.To explain about diversity of the people of Nagasaki City and its implication to health of individuals 3.To write a report on social determinant of health of residents in Nagasaki.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading			
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	To be instructed through LACS e-learning system.		
キーワード/Key word	global health, eco health, human life-circle, human life-setting		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	To be instructed.		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	Student has a high English proficiency to understand the classes given in English.		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
April 11, 1st period	1) Orientation: Workers and health issues (Hirano) (1)
April 11, 2nd period	2) Workers and health issues (Hirano) (2)
April 18, 1st period	3) Children and health issues (Moji) (1)
April 18, 2nd period	4) Children and health issues (Moji) (2)
April 25, 1st period	5) Elderly and health issues (Nakamura) (1)
April 25, 2nd period	6) Elderly and health issues (Nakamura) (2)
May 2, 1st period	7) Group Work (1)
May 2, 2nd period	8) Group Work (2)
May 9, 1st period	9) Occupational health (Hirano) (1)
May 9, 2nd period	10) Occupational health (Hirano) (2)
May 16, 1st period	11) Community health (Nakamura) (1)
May 16, 2nd period	12) Community health (Nakamura) (2)
May 23, 1st period	13) School health (Moji) (1)
May 23, 2nd period	14) School health (Moji) (2)

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/06/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588022901	科目番号 / Subject code	05880229
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 15862_032		
授業科目名 / Subject	Sport Communication and Coaching in Touch Rugby / Sport Communication and Coaching in Touch Rugby		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	才本 明秀 / Saimoto Akihide		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	才本 明秀 / Saimoto Akihide		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	才本 明秀 / Saimoto Akihide		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Target students	制限なし		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	s-aki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	工学部1号館4F 固体力学研究室		
担当教員TEL / Tel	819-2493		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜、金曜の17:40以降		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	タッチラグビーを通して英語によるコミュニケーション能力を向上させる。迅速に、かつ、広範に、効率的に英語で意思疎通することが試合の中で求められる。また、チームとして勝利するための作戦を考え、皆で議論して実践するまでの一連の行動を英語で行うことで共同性と協調性、ランニングやパスなどのタッチラグビーのための基本スキルを身につける。		
授業到達目標 / Course goals	団体スポーツ競技においては、自ら考え、学び、主張することが勝利のために必須である。本講義では英語のみのコミュニケーションでタッチラグビーを行うことで、英語による自己主張ができるようになる。また、作戦についてチーム内で話し合い、それを実践することにより共同性や協調力を体得することができる。ラグビーのプレイヤーだけでなく、チームの特徴を分析して作戦をたてるためのブレインの存在が重要であり、身体的なハンディキャップがある学生でもチームのブレインとして講義に参加し、英語で議論することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	タッチラグビーの理解度、勝利のための作成の考案をレポートとしてまとめ提出することで成績評価する。また、チームへの貢献度をTAおよび参加者から評価してもらい、それを成績に加味する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	タッチラグビーにはいくつかのルールがある。本講義ではニュージーランドやオーストラリアで行われている6人制のタッチラグビーのルールに基づいて試合を行うのでインターネットなどでルールを確認しておくこと。		
キーワード / Key word	Touch Rugby, Pass and Run, Communication, Coaching		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜紹介する		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	ラグビーはチームで行う競技である。講義を休むことになるとチームに迷惑がかかる。休まなければならない事情が生じたときは、必ず事前に通知すること。かなり長い時間ダッシュを繰り返すので、普段から運動をして体を鍛えておくこと。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	ラグビーはチームで行う競技なので、たとえ実際にプレーできなくても、適切な指示やコーチングをおこなうことでチームに貢献することができる。したがって全ての学生が受講可能である。ハンディキャップを持つ人のために何が出来るか皆で考えること(all for one)も重要なラグビー精神の一つである。		
備考 (URL) / Remarks(URL)	授業は文教町のグラウンドで行います。各自着替えて集合してください。なお、雨天の場合は教養教室A棟の42教室にて英語によるチームミーティングや試合の鑑賞(英語)を行う。		
学生へのメッセージ / Message for students	2019年にラグビーのワールドカップが日本で開催されます。この講義を通して少しでもラグビーを理解し、ワールドカップを楽しむとともに、ラグビーを通じて英語コミュニケーションスキルを向上させましょう。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	ガイダンス、講義のルールの説明、チーム編成
2	基本スキル1(パスとラン)
3	基本スキル2(コーリングと簡単なサインプレー)
4	基本スキル3(ラインを前進させるためのパスとランニングコース)
5	タッチラグビーの基本ルールの理解
6	練習試合を通じた基本スキルの確認
7	リンクの役割とウイングの役割の理解、ポジショニング
8	オフサイドしないラインディフェンスの方法
9	いかにして勝利するか、チームミーティングとサインプレーの確認
10	実践によるタッチラグビースキルの向上とコーチング(1)
11	実践によるタッチラグビースキルの向上とコーチング(2)
12	反省点の集約と勝つための戦略会議
13	最終リーグ戦
14	リーグ戦の反省会とさらなる勝利を目指すための作戦会議
15	TA(大学院生チーム)との試合と講義の総括

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/06/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588023001	科目番号 / Subject code	05880230
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 15872_032		
授業科目名 / Subject	Contemporary Issues of Marine Ecosystems and Environment / Contemporary Issues of Marine Ecosystems and Environment		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	NISHIHARA GREGORY NAOKI / Nishihara Gregory Naoki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	NISHIHARA GREGORY NAOKI / Nishihara Gregory Naoki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	NISHIHARA GREGORY NAOKI / Nishihara Gregory Naoki		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Target students	Students interested in issues in environmental pollution and environmental protection		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	greg nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	Institute for East China Sea Research		
担当教員TEL / Tel	095-850-4588		
担当教員オフィスアワー / Office hours	One hour after class		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	We will examine issues regarding pollution in the marine environment. We will also review problems regarding environmental conservation. Video reports will be used to deepen understanding in these issues.		
授業到達目標 / Course goals	The objective of this course is to become proficient in expressing and criticizing information regarding marine environmental issues and protection.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	10 Video reports (100 points each, total of 1000 points) Passing grade requires more than 600 points.		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Handouts will be provided.		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	You will require high proficiency in English.		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1	Issues regarding marine environmental problems and conservation		
2	Issues regarding marine environmental problems and conservation		
3	Issues regarding marine environmental problems and conservation		
4	Issues regarding marine environmental problems and conservation		
5	Issues regarding marine environmental problems and conservation		

6	Issues regarding marine environmental problems and conservation
7	Issues regarding marine environmental problems and conservation
8	Final report presentation



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/06/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588023001	科目番号 / Subject code	05880230
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 15872_032		
授業科目名 / Subject	Contemporary Issues of Marine Ecosystems and Environment / Contemporary Issues of Marine Ecosystems and Environment		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	NISHIHARA GREGORY NAOKI / Nishihara Gregory Naoki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	NISHIHARA GREGORY NAOKI / Nishihara Gregory Naoki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	NISHIHARA GREGORY NAOKI / Nishihara Gregory Naoki		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Target students	海洋保全・保護に興味の有る学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	greg_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環東シナ海環境資源研究センター		
担当教員TEL/Tel	095-850-4588		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後の1時間		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	海洋環境における汚染や環境問題について紹介し、ビデオレポートを通して理解する。		
授業到達目標/Course goals	英語を用いて海洋環境保全や海洋環境問題に関する情報発信や議論ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	ビデオレポート10回(各100点、合計1000点) 600点以上で合格		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントを配布する		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	高い英語力を持つ学生推奨・英語で開講。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1	海洋環境問題と保全について		
2	海洋環境問題と保全について		
3	海洋環境問題と保全について		
4	海洋環境問題と保全について		
5	海洋環境問題と保全について		

6	海洋環境問題と保全について
7	海洋環境問題と保全について
8	最終レポートの発表

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/21		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588023101	科目番号 / Subject code	05880231
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 15882_032		
授業科目名 / Subject	Nagasaki Studies / Nagasaki Studies		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Target students	1,2,3,4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	suzu-a nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	Building of Department of Education 6, 622		
担当教員TEL/Tel	095-819-2376		
担当教員オフィスアワー/Office hours	On Mondays, 12:20-12:40 If you need to meet with me outside my office hours, you can make an appointment.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	<p>This course will examine Nagasaki in terms of the latest theories in the global age, such as East-West Studies, World Literature, and World Film. With these contemporary theories, we will look at the world in and through Nagasaki and simultaneously analyze Nagasaki from multicultural and multidimensional viewpoints in the world.</p> <p>Nagasaki is the oldest cultural crossroads of the East and West in Japan. During the Toyotomi and Tokugawa periods, various cultures and epistemologies of the East, especially China and Korea, and those of the West, such as the Netherlands, Portugal, Spain, Russia, the U.S.A., and the U.K., came to Nagasaki, fused there, and started to spread to other areas in Japan. On the other hand, although few take notice of it, various things that encapsulate the essence of Japaneseness went out to the world from Nagasaki. (For instance, it increasingly accepted that Gulliver's Travels originates from Japanese stories and pictures, which were exported from Nagasaki.) What impact did all this interaction have on the world and on Nagasaki? What did people see in Nagasaki (or in Japan through Nagasaki) and see in the world through Nagasaki? Contemporary novelists, including Eric Faye (France) and David Mitchell (the U.K.), often use Nagasaki as a setting for their very popular fictions, instead of New York, Paris, or Tokyo. In the global age, why did the authors choose Nagasaki for their themes and what do they see in Nagasaki? We can ask the same questions to authors of other novels, dramas, films, photos, and arts written, made, and painted in various ages and areas all over the world. On the other hand, what do readers and viewers see in the representations of Nagasaki? The answer depends on the socio-cultural background of readers and viewers. A text changes when it goes beyond the border. On another front, empathizing with the representations comes from how a problem, a tragedy, or happiness common to humanity is expressed.</p> <p>In this class, students with a diversity of cultures, traditions, and expertise will attend in order to promote understanding and peace in the global world, so let's examine Nagasaki and its various representations in the world as well as representations of the world in Nagasaki. Let's examine various representations from your own perspective and then from the latest theories, to discuss what you can empathize with and understand and what you cannot. Through the process of comparison and discussion, let's understand each other and analyze Nagasaki from the multicultural and multidimensional viewpoints.</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Acquisition of basic knowledge of Nagasaki.</li> <li>2. Ability to promote understanding and peace in the global world by examining Nagasaki and its various representations in the world as well as representations of the world in Nagasaki.</li> <li>3. Ability to analyze Nagasaki from the multicultural and multidimensional viewpoints.</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy    汎用的能力 / Generic Competence    倫理観 / Ethics    多様性の理解 / Understanding Diversity    協働性 / Cooperativeness    考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas    国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Grading	1. Presentations (40% of the final grade) 2. Research Paper. This will be a research paper of 4-5 pages in length on a topic of your choice (60% of the final grade). See "Message for students."
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	Read texts and prepare for presentation
キーワード/Key word	Nagasaki, Representation, World Literature, Dialect, Cross-cultural Understanding
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	a collections of printouts
受講要件(履修条件) /Prerequisites, etc.	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	Class attendance, preparation, and participation. This aspect of the course cannot be emphasized enough. Because this is a discussion-oriented course, each class is a true joint-learning venture, the success of which depends on every member not only having completed the assigned reading for the day, but also having digested and reflected on it, and being prepared for discussion. To facilitate this, each student will prepare a typed list of questions or topics for discussion. Finally, it should go without saying that you cannot be considered a participant in class if you do not actually attend class. The choice to attend class is of course yours, but missing more than three classes without an excuse will seriously affect your final grade. Any excused absence requires written authorization from Health Services, a doctor, advisor, counselor, or administrator. Class participation will count for 20% of your final grade.
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	Introduction to the Course & Ice-breaking
2	(1) What is Nagasaki? From the Viewpoint of the World-System Theory: the World-System, Marx, Empire's Road and Modification of Cultures (2) From the World to Nagasaki: "Wa-Ka-Ran" Culture, or the World Culture and Its Representation in Nagasaki: Comparison (Religion <Church & Religious Figures>, Food, Language, Fashion, Festival, Episteme)
3	Presentation and Discussion
4	From Nagasaki to the World: Nagasaki and Its Cultural Representation in the World Comparison of Pictures and Art
5	Presentation and Discussion
6	Linguistics of Nagasaki (Dialects) and Adaptation in Art (The Gulliver's Travels (Irish Novel): Nagasaki in The Gulliver's Travels.)
7	Presentation and Discussion
8	Christianity in Nagasaki and its Representation in Film with Adaptation: Theory
9	Endo Shusaku's Silence (Translation Studies and Film Studies)
10	Mapping of Texts: Theory
11	Mapping of Kazuo Ishiguro's A Pale View of Hills and Eric Faye's Nagasaki
12	Field Work
13	Field Work
14	Presentation and Discussion
15	Conclusion: Again, What Is Nagasaki?

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/21		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588023201	科目番号 / Subject code	05880232
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 15892_032		
授業科目名 / Subject	Toward a Nuclear Weapon Free-World / Toward a Nuclear Weapon Free-World		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Target students	1, 2, 3, 4		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nakamurak nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	2nd floor, Research Center for Nuclear Weapons Abolition, Nagasaki University (RECNA)		
担当教員TEL / Tel	095-819-2865		
担当教員オフィスアワー / Office hours	by appointment		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	This course is designed to introduce participants to the challenges in facing a world affected by the existence of approximately 15,000 nuclear weapons, and the proliferation of their related materials and technology.		
授業到達目標 / Course goals	Overall, this course will not only facilitate students to gain a greater understanding of the various issues related to nuclear weapons, but also help students construct their own ideas and opinions for a better future, and build confidence to express and share these ideas with their peers.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	1) Class attendance, preparation, and participation in discussion (60%) 2) Final report (40%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	Preparation includes reading related news articles and presenting t in class.		
キーワード / Key word	nuclear weapons, nuclear disarmament, nuclear non-proliferation, nuclear energy, peace and disasrmament education		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Not required (printed materials may be distributed in class)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	N/A		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	Appropriate assistance will be provided.		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	The working language in the classroom is English and at least a moderate English proficiency is required.		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
	Introduction to the Course		
	Basic Introduction of Nuclear Weapons I: Beginning of Nuclear Age		
	Basic Introduction of Nuclear Weapons II: Current status of nuclear world		

	Nuclear testing I
	Nuclear testing II
	The Cold War Era and Nuclear Arms Race
	Beyond the Cold War: Risk of Proliferation
	Nuclear Weapons from Regional Perspectives
	Peaceful Use of Nuclear Energy and Nuclear Non-proliferation
	Japanese Nuclear Policy
	Nuclear Weapon-Free Zones
	States that Chose a Non-Nuclear Policy
	Role of Civil Society I
	Role of Civil Society II
	Conclusion

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/21		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588023401	科目番号 / Subject code	05880234
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	Become Intercultural / Become Intercultural		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	Fritz Robinson / Robinson Fritz		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	Fritz Robinson / Robinson Fritz		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	Fritz Robinson / Robinson Fritz		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Target students	<p>1. This course is useful for students who want a new, alternative and deep way to understand foreign language and intercultural development.</p> <p>2. The course will be in given in mainly English. Therefore, all students should be comfortable to communicate in English with the teacher and other students.</p> <p>3. As a guide, it is recommended that students have an equivalent English of one of these tests a) TOEIC 625 or higher, B) IELTS 5.5 or higher, C) TOEFL IBT 65</p>		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	rob-fritz nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	経済学部の本館 5 0 3		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	Please email to make an appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	<p>In this course, the teacher will introduce to students his idea of how to effectively develop foreign language and an intercultural mindset. This will be done by:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Students reflecting and analyzing themselves by thinking about their own experiences, knowledge and way of thinking.</li> <li>- Introducing the important intercultural mindset topics such as: Positive attitude, open-mindedness, flexibility and curiosity</li> <li>- Critically analysing society and culture</li> </ul> <p>This course will use the teacher's research of intercultural education, intercultural communication and psychology.</p>		
授業到達目標/Course goals	All students will create their own foreign language and intercultural development goals. At the end of the course, students will understand better how continue developing independently in the future.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt;/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt;/ Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt;/ Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt;/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt;/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt;/ It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	<p>Ideal Intercultural Self: 40% (This is an A4 drawing and writing of students own future foreign language and intercultural development goals)</p> <p>Homework assignments: 40 % (homework will be given every week)</p> <p>Self-evaluation: 20% (students will be asked to evaluate themselves 4 times during the course)</p>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	No preparation or review is needed.		
キーワード/Key word	Intercultural development, foreign language development, English, culture, society, psychology		

教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	No textbook is needed. The teacher will give handouts in every class.	
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	- As students will be required to write reports for some homework assignments, students need to know how to write a paragraph in English.	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)		
備考 (URL) /Remarks(URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	Please email me with any questions about this course.	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) /Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
2nd October 5th period	1. Introduction. An introduction of the course and teacher will be given. Students will be also asked to introduce themselves to other classmembers	B
2nd October 6th period	2. The teacher's research A brief explanation of the teacher's research will be given to students. The purpose is for students to understand what kinds of theories influence this course.	A
9th October 5th period	3. About your self Psychology theories explain that everyone has a self, and understanding our self is important for foreign language and intercultural development. This class will give students an introduction about self theory (from psychology/intercultural education)	A C
9th October 6th period	4. Make your first Ideal Intercultural Self. Students will be asked to create, draw and write their own future foreign language and intercultural development goals.	C
16th October 5th period	5. How to develop your Ideal Intercultural Self Part 1(How?) From this class, students will be given advice and effective steps to take to develop their own future foreign language and intercultural development goals.	B
16th October 6th period	6. How to develop your Ideal Intercultural Self Part 2 (macro factors) In this class, an explanation of which culture and society factors can influence students to develop (or not develop) their future foreign language and intercultural development goals.	A
23rd October 5th period	7. How to develop your Ideal Intercultural Self Part 3 (micro factors) Continuing from the previous class, students will become aware of what personal (micro factors i.e. way of thinking, motivation, communication style) can influence students to to develop (or not develop) their future foreign language and intercultural development goals.	A
23rd October 6th period	8. How to develop your Ideal Intercultural Self Part 4 (positive attitudes) Students will be asked to reflect and analyze themselves regard how positive they have been learning and using foreign languages, and also for intercultural communication.	B
30th October 5th period	9. How to develop your Ideal Intercultural Self Part 5 (positive attitudes) The previous class theme will be continued	B
30th October 6th period	10. How to develop your Ideal Intercultural Self Part 6 (Flexibility) The importance of flexibility will be introduced to students. Students will reflect and analyze how flexible they are. The teacher will give advice on how to become more flexible.	D
6th November 5th period	11. How to develop your Ideal Intercultural Self Part 7 (Flexibility) The previous class topic will be continued.	D



6th November 6th period	<p>12. How to develop your Ideal Intercultural Self Part 7 (Role Models)</p> <p>Motivation theory such as Self-Efficacy suggests that role models, people who we respect and admire, are useful for learners to achieve goals. Students will be introduced to this theory and asked to consider who are their foreign language and/or intercultural mindset role models.</p>	B
13th November 5th period	<p>13. How to develop your Ideal Intercultural Self Part 8 (Role Models)</p> <p>The previous class topic will be continued.</p>	B
13th November 6th period	<p>14. How to develop your Ideal Intercultural Self Part 9 (Role Models)</p> <p>The teacher will invite a guest to the classroom. The guest will be a role model who the teacher believes has a positive, flexible and open-minded attitude for foreign language and intercultural development.</p>	B
20th November 5th period	<p>15. Evaluate your Ideal Intercultural Self</p> <p>Students will be asked to edit, add or delete ideas from their Ideal Intercultural Self (which they made in class 4). The purpose is for student to think more carefully about their own goals.</p>	A
20th November 6th period	<p>16. Review</p> <p>The final class will be a self-evaluation and group discussion to encourage learners to share with each other what they have learned and what they want to do next.</p>	B

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 2ク ォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/06/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588023501	科目番号 / Subject code	05880235
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	長大生が考える「人生とは何だ?！」 / Students-produced course: Course to think about your future		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	前田 裕介 / Maeda Yusuke, 西久保 裕彦 / HIROHIKO NISHIKUBO, 北村 史 / Kitamura Fumito, 井口 茂 / Inokuti Shigeru		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	前田 裕介 / Maeda Yusuke		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	前田 裕介 / Maeda Yusuke, 西久保 裕彦 / HIROHIKO NISHIKUBO, 北村 史 / Kitamura Fumito, 井口 茂 / Inokuti Shigeru		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Target students	全学部学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	前田裕介: maeday[at]nagasaki-u.ac.jp 北村史: kitamura[at]nagasaki-u.ac.jp 西久保裕彦: h-nishikubo[at]nagasaki-u.ac.jp 井口茂: shigeru[at]nagasaki-u.ac.jp  メールを送信する際は[at]を@に変えてください。		
担当教員研究室/Instructor office	前田裕介: 美術技術研究棟2階 オープンラボ1 北村史: 美術技術研究棟2階 オープンラボ1 西久保裕彦: 環448 井口茂: なし		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	前田裕介: 月曜日-金曜日の16:00-17:00 北村史: 月曜日-金曜日の16:00-17:00 西久保裕彦: 木曜日 12:00-13:00 井口茂: 月・火・金曜日の16時以降  いずれも事前にメールで連絡をとっていただくとスムーズに対応できます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	本科目は、「学生として今をどう生きるべきか」というテーマのもと、働き方、ライフステージについて様々な視点から考え、各々の自発性や自己表現力を養っていきます。本科目は学生による教育改善のための委員会(以下、学生のための委員会)が主体となって発案したものです。長崎大学では、全学共有学士像のひとつとして「自ら学び、考え、主張し、行動することができる」人の育成を目指しています。この学士の資質は、過去の学生のための委員会の調査から学生自身も必要性を感じていることが明らかになっています。		
授業到達目標/Course goals	15回の講義を通して以下の5つの能力を身につけることを目標とします。 1. 発表やディスカッションに向けて必要な情報を収集・分析することができる。 2. 根拠を示した上で、発表やディスカッションの場で自分の意見を主張することができる。 3. グループワークを通じて他者の意見を尊重しつつ、積極的なディスカッションができる。 4. 自分のグループ内で、課題や目標に向けた効果的な関わり方を意識し、それに応じた行動ができる。 5. 自分のこれからの人生についての考えを深め、表現することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	授業への積極的な参加状況 15点 各パートでの発表 45点 グループ活動での貢献 15点 まとめレポート 25点  計100点満点のうち、60点以上を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	
キーワード/Key word	自己分析、働き方、ライフイベント、課題発見力、課題解決力
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は特に指定なし。参考資料は、適宜教員が紹介します。
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	受講生の人数は30名を上限とし、希望者が30名を超える場合は抽選を行って受講生を決定します。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	学生による教育改善のための委員会とは、長崎大学における教育、学生生活等の改善に当たり、学生の意見、要望等を直接反映させることを目的とし、大学教育イノベーションセンターの下部組織として設置されています。学生のための委員会は各学部から選出された学生により運営されています。 <a href="https://www.facebook.com/fdnagasaki/">https://www.facebook.com/fdnagasaki/</a> <a href="https://twitter.com/fd_Nagasaki">https://twitter.com/fd_Nagasaki</a>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(学生による教育改善のため委員会の紹介、科目担当教員の紹介、シラバスの説明など) 担当: 学生による教育改善のため委員会、北村史(大学教育イノベーションセンター)、前田裕介(大学教育イノベーションセンター)
第2回	「将来の理想像とその理由」について考えるワーク 担当: 学生による教育改善のため委員会、北村史(大学教育イノベーションセンター)、前田裕介(大学教育イノベーションセンター)
第3回	「今の自分」について(講義、グループディスカッション) 担当: 学生による教育改善のため委員会、北村史(大学教育イノベーションセンター)、前田裕介(大学教育イノベーションセンター)
第4回	「今の自分」について(グループディスカッション、情報収集) 担当: 学生による教育改善のため委員会、北村史(大学教育イノベーションセンター)、前田裕介(大学教育イノベーションセンター)
第5回	「今の自分」について(グループでの発表準備、発表、振り返り、講評) 担当: 学生による教育改善のため委員会、北村史(大学教育イノベーションセンター)、前田裕介(大学教育イノベーションセンター)
第6回	「今の自分」について(グループでの発表準備、発表、振り返り、講評) 担当: 学生による教育改善のため委員会、北村史(大学教育イノベーションセンター)、前田裕介(大学教育イノベーションセンター)
第7回	「働くこと」について(講義、グループディスカッション) 担当: 西久保裕彦(環境科学部)
第8回	「働くこと」について(グループディスカッション、発表) 担当: 西久保裕彦(環境科学部)
第9回	「働き方」について(講義、グループディスカッション) 担当: 西久保裕彦(環境科学部)
第10回	「働くこと」について(グループディスカッション、発表) 担当: 西久保裕彦(環境科学部)
第11回	「ライフイベント」について(講義、グループディスカッション) 担当: 井口茂(医学部保健学科)
第12回	「ライフイベント」について(グループディスカッション、情報収集) 担当: 井口茂(医学部保健学科)
第13回	「ライフイベント」について(グループでの発表準備、発表、振り返り、講評) 担当: 井口茂(医学部保健学科)
第14回	「ライフイベント」について(グループでの発表準備、発表、振り返り、講評) 担当: 井口茂(医学部保健学科)
第15回	講義全体の振り返り、発表、まとめ、授業アンケート 担当: 学生による教育改善のため委員会、北村史(大学教育イノベーションセンター)、前田裕介(大学教育イノベーションセンター)

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588023601	科目番号 / Subject code	05880236
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	Radiation and Health / Radiation and Health		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	SAENKO VLADIMIR ALEXANDROVITCH / Saenko Vladimir Alexandrovitch		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	SAENKO VLADIMIR ALEXANDROVITCH / Saenko Vladimir Alexandrovitch		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	SAENKO VLADIMIR ALEXANDROVITCH / Saenko Vladimir Alexandrovitch		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Target students	Students from 1 to 4 grade interested in learning about radiation effects on biological objects and human health in English.		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	saenko nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	Sakamoto campus, Atomic Bomb Disease Institute, room 314.		
担当教員TEL/Tel	095-819-7122		
担当教員オフィスアワー / Office hours	08:30-18:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	Lecture course covers broad topics related to biology, including basic overview from gene to cell, stem cells and human carcinogenesis; elements of physics on radiation and radioactivity; radiation biology; medical applications of radiation and associated benefits and risks for health from exposure; history of radiological protection. Particular attention is paid to the real experiences, lessons learned and health consequences of two large-scale technogenic catastrophes involving radiation, the accidents at the Chernobyl and Fukushima Dai-ichi nuclear plants. Aspects of nuclear disaster and health risk management, and ethical issues of living and working in the regions with low-level radioactive contamination are also presented.		
授業到達目標 / Course goals	Goals of the course is to provide an understanding of the mechanisms of action of ionizing radiation on biological objects, starting from the molecular level and moving up to a cell, tissue, organ, body and population. Following completion, the students should have sufficient knowledge of benefits and harms of radiation, why radiation exposure may result in a disease such as cancer, how the risk for disease correlates with radiation dose and what are the ways of decreasing the risk. On the examples of medical applications of radiation and accidents at the nuclear plants, the students should realize the scale and timing of possible health consequences, and general approaches to and measures for protection from excessive risks from external and internal exposures.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	No specific requirements		
キーワード / Key word	Ionizing radiation, external and internal exposure, acute and chronic exposure, DNA damage, DNA repair, mutation, cell, cancer, health hazard, radiation dose, risk of disease, radiological protection, medical exposure, occupational exposure, Chernobyl, Fukushima		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Printed slide handouts are provided for each lecture.		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	English speaking/learning abilities; little or no specific background knowledge is necessary. A background in physics and biology is a plus, but neither of these is a requirement.		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	No restrictions/conditions; access to the building by the ramp is available; elevator inside the building.
備考 (URL) /Remarks(URL)	Atomic Bomb Disease Institute website: <a href="http://www-sdc.med.nagasaki-u.ac.jp/abdi/">http://www-sdc.med.nagasaki-u.ac.jp/abdi/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	<p>Modern society is inseparable from radiation. Setting aside all types of natural cosmic and terrestrial hot particles, which every organism encounters permanently from the very beginning of its life, and due to which the cells of our bodies had worked out a great machinery of DNA repair that protects genomes from inevitable and potentially harmful damages, technologies employing radiation are in plentitude. Medical diagnostic and treatment equipment or procedures, industrial radiographic camera devices, food safety and sterilizing methods, and, obviously, nuclear power plants are known to everybody. Controllable usage of radiation is generally safe because very low doses that our tissues acquire would not result in appreciable risk for developing diseases in the future. However, when accumulated radiation doses become high but not lethal, a chance for disease such as cancer goes up. Situations when people are exposed to harmful doses are rare yet not impossible; these are called radiological or nuclear accidents. Similarly to many other types of various technologies, radiation may be "good" by bringing us benefits, healing or other useful advances, or "bad" when the things go wrong beyond safety. Deadly or moribific effects of radiation can be seen from A-bombings of Hiroshima and Nagasaki, accident at the Chernobyl nuclear plant and other lower-scale radiological accidents, which can affect from a few to millions of people. Humans cannot sense radiation, and with notorious examples of tragedies involving radiation in mind, it is natural to be rather afraid of it.</p> <p>This course is composed of lectures, which give the students a good idea when radiation is good and where the danger may begin. We use scientific evidence to explain current knowledge of the mechanisms and size of radiation effects on human health. Our aim is to help young people to properly understand radiation effects so they will be able to work out and substantiate their own point of view on radiological accidents such as that recently happened in Fukushima, or on different medical procedures. The lectures are given by the tutors from the Atomic Bomb Disease Institute, each of whom has a long history of research in radiation-related areas, either basic or clinically-oriented. Finally, we teach in English, which is a good chance for the students to improve their foreign language skills. All students are welcome!</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
to be added	Biology - from gene to cell
to be added	Cancer 1
to be added	Cancer 2
to be added	Understanding radiation effect. Basic physics/terms of "radiation", "radioactivity"
to be added	Radiation: a source of life energy
to be added	DNA repair: an innate system to keep our genome
to be added	History of radiological protection
to be added	Is radiation right or wrong?
to be added	Radiation in medicine: applications and associated risk
to be added	What are stem cells
to be added	Stem cells in radiation research
to be added	Lessons from Chernobyl accident: why thyroid cancer increased?
to be added	Lessons from Fukushima accident: why the panic occurred?
to be added	The ICRP dialogue initiative in Fukushima
to be added	Radiation and risk of thyroid cancer: from Chernobyl to Fukushima
to be added	Molecular alterations in radiation-induced thyroid cancer
to be added	Overcoming the consequences of Chernobyl accident in Belarus

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588023701	科目番号 / Subject code	05880237
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 15902_032		
授業科目名 / Subject	Development Cooperation and Global Health / Development Cooperation and Global Health		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	菊地 太郎 / Taro Kikuchi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	菊地 太郎 / Taro Kikuchi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	菊地 太郎 / Taro Kikuchi		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Target students	All grades from all of schools and faculties		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	taro-kikuchi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	Room No.507, 5th Floor, Global Health General Research Building, SAKAMOTO Campus		
担当教員TEL / Tel	095-819-7895		
担当教員オフィスアワー / Office hours	09:30-17:45(Advanced notice is required at taro-kikuchi nagasaki-u.ac.jp)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	Various knowledge and expertise about economic and social development are required for those who wish to engage in global health cooperation. These knowledge are not limited to health and medical fields but includes broader spectrum of social sciences such as history of development assistance, mechanism of public policy, legal system, etc. and are expected for students to help understand the international affairs especially occurring in the developing countries in the world. In this subject, a brief history on international development assistance and development cooperation by the Government of Japan as Official Development Assistance (ODA), and key fundamental principles around development cooperation especially in health sector will be offered to students to enable them to take a first step to think about international cooperation with emphasis on health development in the global society.		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Students become able to shape their own consideration on future direction of development assistance especially in the health sector which are implemented by such public actors as the government, incorporated administrative agencies and UN agencies through understanding actual condition of the assistance in a multifaceted way.</li> <li>・ Students become able to distinguish the concept from the contents in the topics, subjects, and key words in the arena of global health.</li> <li>・ Students become able to describe roles and activities of stakeholders and actors engaged in international health cooperation.</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	Active participation in the class (20 points)+Reports as qualified by the lecturer (30 points)+Result of final examination (50 points)=100 points. Points of 60 and over out of a score of 100 are regarded eligible for the credit.		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	Submission of reports containing the student's own way of thinking about lecture contents explained in the class. Shaping the student's consideration through prior notice of specific topic(s) to be discussed in the following class.		
キーワード / Key word	Development Assistance, International Cooperation, Global Health		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	There is no specific textbook used in this subject. Lectures are given using visual aids such as slides and videos. Students are sometimes advised to read official documents of governments and development partners as well as research papers if necessary in the class.		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	Students who are on enrollment
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	Agenda of this course might not be generally familiar to students. But I hope the enrolled students come to feel close to development cooperation in global health throughout the period. A good command of English will be needed to keep up with this course.
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st	Introduction of Development Cooperation
2nd	Works and Jobs in the Development Cooperation
3rd	Development Cooperation and Japan's ODA System
4th	Development Cooperation and Japan's ODA System 2
5th	History and Current Development Cooperation
6th	History and Current Development Cooperation 2
7th	Introduction of Global Health Issues
8th	Japan's ODA Policies on Global Health
9th	Japan's Experience on Health Development
10th	Partnerships for Development Cooperation
11th	Global Health Harmonization
12th	Actions by Development Partners(e.g.World Health Organization)
13th	Various topics in Global Health
14th	Collaboration with Stakeholders in Health Sector
15th	Future Direction in Development Cooperation and Global Health

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588023701	科目番号 / Subject code	05880237
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 15902_032		
授業科目名 / Subject	Development Cooperation and Global Health / Development Cooperation and Global Health		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	菊地 太郎 / Taro Kikuchi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	菊地 太郎 / Taro Kikuchi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	菊地 太郎 / Taro Kikuchi		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Target students	全学部、全学年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	菊地太郎 taro-kikuchi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	グローバルヘルス総合研究棟5階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7895		
担当教員オフィスアワー/Office hours	9時-17時 (事前のアポイントメントが望ましい)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	世界的な保健課題の解決に従事するには経済社会開発における多様な知識が要求される。これらの知識は保健医療に限らず、開発援助の歴史、公共政策の仕組み、法規制等の社会科学も含めた幅広いものであり、その知識は学生が世界、特に開発途上国で発生する国際的な問題を理解する一助となる。 この科目では、日本の政府開発援助(ODA)による開発協力概要、一般的な開発援助の歴史に加え、保健医療分野の開発協力における重要な原則を学生に示すとともに、学生が国際社会における医療協力を考察する第一歩となる知識を教授する。		
授業到達目標/Course goals	学生自ら多様な公的アクター(政府、開発機構、国連機関)による国際保健医療協力において、現状を多角的に理解した上で、将来の方向性を具体的に検討できるようになる。 学生自ら国際保健における重要事項、議題、キーワードの内容から、その概要を区別して理解できるようになる。 学生自ら国際保健協力に関与するアクターや関係機関の活動や役割を説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	講義後に課される課題レポート、授業への貢献、最終考査結果		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) )/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習、講義への参加や対話、更に講義後に課す課題へ取り組むことで学習する。政府、開発パートナー機関の文書や研究論文も情報源として活用される。		
キーワード/Key word	開発援助、国際協力、グローバルヘルス		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜指示		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	一般的には学生にとってあまり馴染みのない分野かもしれませんが、授業を通じて国際保健分野の開発協力を身近に感じることができます。授業内容を理解するには十分な英語スキルが必要になります。		
授業計画詳細 / Course Schedule			



回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (11/28)	開発協力の紹介
第2回 (11/28)	開発協力の分野で働くには
第3回 (12/5)	日本の政府開発援助(1)
第4回 (12/5)	日本の政府開発援助(2)
第5回 (12/12)	開発協力の歴史と現在(1)
第6回 (12/12)	開発協力の歴史と現在(2)
第7回 (12/19)	国際保健課題の紹介
第8回 (12/19)	日本の国際保健政策
第9回 (1/9)	日本の保健開発の経験
第10回 (1/9)	開発協力におけるパートナーシップ
第11回 (1/16)	国際保健における調和化
第12回 (1/16)	開発パートナー概要(世界保健機関など)
第13回 (1/23)	国際保健における様々なトピック
第14回 (1/23)	保健分野における開発連携
第15回 (1/30)	国際保健における開発協力の方向性
第16回 (1/30)	最終考査

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Class period	2018/04/01 ~ 2018/09/21		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588023801	科目番号 / Subject code	05880238
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 15911_001		
授業科目名 / Subject	キャリア実践 / Career Practice		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	矢野 香 / Yano Kaori		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Target students	全学年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kyano nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	キャリア支援センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2101		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールか電話でアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	実社会に出てインターンシップを行う実習体験を中心に、インターンシップ前の講義、後の報告会を実施する。		
授業到達目標/Course goals	<p>(1) 実社会での体験を通して社会人に必要なスキルを理解し、自分が不足している能力について自己分析することができる。</p> <p>(2) 自己の適性やキャリアデザインについて考え、暫定的な将来の目標をたてることができる。</p> <p>(3) チームで共修・協働しながら、実習のための事前調査や事後報告などをまとめることができ、その内容についてわかりやすく発表することができる。</p> <p>(4) 実習先である企業担当者の指導・指示に従い、社員、職員の一員として責任ある行動を心掛けることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Grading	<p>授業外課題、授業内活動(グループワーク・プレゼンテーション)、インターンシップ報告書、実習に対するインターンシップ先企業からの評価などを合計して評価し、60点以上を合格とする。なお、授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	講義や報告会のために作成したレポートやパワーポイント、またインターンシップ期間中の報告書などをLACSより提出してもらいます。		
キーワード / Key word	キャリア、インターンシップ、社会人基礎力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	なし		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	<p>土曜日または日曜日の集中講義です。</p> <p>インターンシップ参加日は企業によって異なります。</p> <p>詳細は第一回講義で説明します。</p>		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	<p>インターンシップに参加するためには、保険に加入する必要があります。詳細は講義内で説明します。</p> <p>&lt; 大学で加入できる保険 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生教育研究災害障害保険</li> <li>・ 学生教育研究災害障害保険付帯賠償責任保険</li> </ul> <p>上記以外でも、自身の事故及び対人・対物への補償が含まれるものであれば問題ありません。</p>
学生へのメッセージ/Message for students	<p>インターンシップとは、「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」です。</p> <p>インターンシップは3年になってから、就活のときにするものと思っていませんか？</p> <p>この講義では低学年の学生向けのインターンを行います。</p> <p>1年次からインターンシップを経験することで、早い時期から「社会で働く」ということをリアルにイメージすることができるようになります。ぜひ挑戦してみてください！</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 5月12日(土)	<p>インターンシップとは？</p> <p>インターンシップとアルバイトの違い</p> <p>社会に出る前に身に付けるべき力</p>
第2回 5月12日(土)	<p>インターンシップにおける目標設定</p> <p>インターンシップ先決定</p>
第3回 5月12日(土)	インターンシップ先 企業研究
第4回	インターンシップ参加
第5回	インターンシップ参加
第6回	インターンシップ参加
第7回	インターンシップ参加
第8回	インターンシップ参加
第9回	インターンシップ参加
第10回	インターンシップ参加
第11回	インターンシップ参加
第12回	インターンシップ参加
第13回 7月21日(土)	報告会
第14回 7月21日(土)	報告会
第15回 7月21日(土)	総括・まとめ

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/09/21		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588023901	科目番号 / Subject code	05880239
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 15921_002		
授業科目名 / Subject	モノポリーで学ぶ教養としてのビジネス / Business foundations through playing MONOPOLY?		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	林 徹 / Hayashi Toru		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	thaya@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Instructor office	627, School of Economics, Katauchi		
担当教員TEL / Tel	095-820-6368		
担当教員オフィスアワー / Office hours	Details will be shown at opening class.		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	Through playing the board game MONOPOLY (R), this class makes you learn fundamental of business.		
授業到達目標 / Course goals	This class encourages you to actively learn, think, and behave. This class also encourages you to cooperate with others actively. In order to do so, this class uses the world famous table game MONOPOLY (R).		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above through playing the board game F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	Playing bord game 30%; Q&A 30; Term report 40%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	Read the textbook and some materials on LACS to prepare for class and making report.		
キーワード / Key word	MONOPOLY (R), Running real estate business, Contorlling assets, Double-entry bookkeeping, Morgages, Barganing or negotiations, Taxes around real estate businesses, Civil law		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書 : 林徹 (2017) 『モノポリーで学ぶビジネスの基礎』中央経済社.		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	Ability to read, listen, and speak Japanese fluently.		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	Guidance
2-4	Playing the board game with confirming the official rule
5-8	Presentation and Q&A
9-12	Playing the board game
13-14	Presentation and Q&A
15	Presentation of term report
16	Review

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/09/21		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588023901	科目番号 / Subject code	05880239
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 15921_002		
授業科目名 / Subject	モノポリーで学ぶ教養としてのビジネス / Business foundations through playing MONOPOLY?		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	林 徹 / Hayashi Toru		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	thaya nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	経済学部本館627研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6368		
担当教員オフィスアワー / Office hours	開講時に説明します。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	MONOPOLYのゲーム体験をふまえて、ゲームの舞台を知り(土地・税制史、銀行、企業金融、民法)、楽しむことの意義を学術的に検討し(定石、交渉術と遊び、アクティブラーニング)、さらに実務へのゲートウェイを探究する(不動産所得の経費、サービスと経営成果)。		
授業到達目標 / Course goals	「自ら学び、考え、主張し、行動することができる。」「主体性をもって他者と協働できる。」これらのために、紳士・淑女としてゲームを楽しみ、また振る舞えること。ゲームと現実社会との基本的な異同を説明できること。ゲームと人文・社会科学入門とのインターフェイスを説明できること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ボードゲームMONOPOLYのプレイヤーと銀行係の両方を体験させる。 F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	ゲームへの関与(30%)、報告・小演劇ならびに質疑応答(30%)、レポート課題(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	レポート課題ならびに報告・小演劇にむけて教科書の入手と精読、およびLACSへアップされる資料のチェック。		
キーワード / Key word	MONOPOLY、不動産経営、資産運用、複式簿記、抵当権、処世術・交渉術、土地・税制、民法		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 林徹(2017)『モノポリーで学ぶビジネスの基礎』中央経済社。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	なし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	不動産経営に関心があればベストです。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	ガイダンス、デモンストレーション、グループ分け
2	ゲーム実践1
3	ゲーム実践2
4	ゲーム実践3、重要なルールの再確認
5	報告または小演劇(1)と質疑応答
6	報告または小演劇(2)と質疑応答
7	報告または小演劇(3)と質疑応答
8	報告または小演劇(4)と質疑応答
9	ゲーム実践4
10	ゲーム実践5
11	ゲーム実践6
12	ゲーム実践7
13	報告または小演劇(5)と質疑応答
14	報告または小演劇(6)と質疑応答
15	課題レポートの報告会
16	反省と今後の展望

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20180588024001	科目番号 / Subject code	05880240
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 15932_032		
授業科目名 / Subject	Nagasaki Studies / Nagasaki Studies		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Target students	1,2,3,4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	suzu-a nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	Building of Department of Education 6, 622		
担当教員TEL/Tel	095-819-2376		
担当教員オフィスアワー/Office hours	On Mondays, 12:20-12:40 If you need to meet with me outside my office hours, you can make an appointment.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	<p>Dejima is an artificial island built in Nagasaki Harbor in 1634 by the Tokugawa Shogunate to house the Portugueses and then the Dutch offshore during the period of national isolation from 1633 to 1858. Dejima was regarded as a jail, according to the complaint of Portugueses, one of the first residents on Dejima, and it is referenced in The History of Japan (Geschichte und Beschreibung von Japan, 1777-79) by Engelbert Kaempfer, a German doctor who stayed on Dejima from 1690 to 1692. This small artificial island has an important place in Japanese history, although now it is a relic from the past in a corner of Japan, almost lost in oblivion even in Japanese memory.</p> <p>Dejima, however, has been taken note of by well-known contemporary authors in other countries, and their novels have prevailed both worldwide in translation and in their original languages as well. Thus, authors living in the global era think much of Dejima as a suitable place for works that are translatable across the gaps of social and cultural differences in societies in the global era. How can Dejima, an oblivious relic from the past in a corner of Japan, be suitable for representation of a globalized society, instead of one of the more international cities of Japan, such as Tokyo, Kyoto, or Osaka?</p> <p>This course will examine Dejima and Nagasaki by reading a contemporary novel Nagasaki by Éric Faye, mapping the text, and fieldworks.</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Acquirement of basic knowledge of Dejima and Nagasaki.</li> <li>2. Ability of promote understanding and peace in the global world by examining Dejima and Nagasaki and its various representations in the world.</li> <li>3. Ability to analyze Dejima and Nagasaki from the multicultural and multidimensional viewpoints.</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> <li>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt;/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</li> <li>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt;/ Activities involving others to think from various perspectives</li> <li>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt;/ Activities to practice for acquiring skills</li> <li>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt;/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</li> <li>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt;/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</li> <li>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt;/ It consists only of lectures from teachers</li> </ol>		
成績評価の方法・基準等/Grading	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Presentations (40% of the final grade)</li> <li>2. Research Paper. This will be a research paper of 4-5 pages in length on a topic of your choice (60% of the final grade).</li> </ol> See "Message for students."		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) )/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		



事前、事後学習の内容/Preparation & Review	Read texts and prepare for presentation
キーワード/Key word	Dejima, Nagasaki, Representation, World Literature, Cross-cultural Understanding
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Text: Eric Faye, Nagasaki, trans. by Emily Boyce, Gallic Books.
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	Class attendance, preparation, and participation. This aspect of the course cannot be emphasized enough. Because this is a discussion-oriented course, each class is a true joint-learning venture, the success of which depends on every member not only having completed the assigned reading for the day, but also having digested and reflected on it, and being prepared for discussion. To facilitate this, each student will prepare a typed list of questions or topics for discussion. Finally, it should go without saying that you cannot be considered a participant in class if you do not actually attend class. The choice to attend class is of course yours, but missing more than three classes without an excuse will seriously affect your final grade. Any excused absence requires written authorization from Health Services, a doctor, advisor, counselor, or administrator. Class participation will count for 20% of your final grade.
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	Introduction to the Course & Ice-breaking
2	Reading the text (the part of the protagonist's home): Where is his home?
3	Analysis of the text (the part of the protagonist's home): Where is his home?
4	Analysis of the text with Google Maps (the part of the protagonist's home): Where is his home?
5	Fieldwork
6	Fieldwork
7	Presentation and Discussion
8	Reading the text (the part of the protagonist's office): Where is his office?
9	Analysis of the text (the part of the protagonist's office): Where is his office?
10	Analysis of the text with Google Maps (the part of the protagonist's office): Where is his office?
11	Fieldwork
12	Fieldwork
13	Presentation and Discussion
14	Discussion: What is Dejima for people in the world?
15	Conclusion: Dejima and Nagasaki in the world of today.

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/06/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180590090501	科目番号 / Subject code	05900905
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11261_001		
授業科目名 / Subject	平和講座 / On the Peace		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 篠崎 正人 / Shinozaki Masato, 国武 雅子 / Kunitake Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 篠崎 正人 / Shinozaki Masato, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 冨塚 明 / Tomiduka Akira		
科目分類 / Class type	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Target students	全学部 1年、2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環境科学部 4階環404戸田教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜午後4時から5時、在室ならいつでも可		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	長崎大学文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身 勤労令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、そ の多くが爆死した。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚」し、国家再 建の基礎を「人類普遍の原理」に求めて戦争を放棄し、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼 して安全と生存を保持しよう」と決意した。」1983年に始まった本講座は、その決意を受け継ぎ、平 和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく、戦争・暴力・平和についての基礎 的資料と基本的な分析理論を提供しゆとするものである。		
授業到達目標/Course goals	戦争の実態、暴力と平和についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して 自由と平和と平等を愛する文化国家の建設に努める態度を身につけることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	レポート100%。出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極 性と担当講師が課したレポートの作成を総合的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業期間中の任意の日時に、岡まさはる記念長崎平和資料館 (月曜休館、JR長崎駅前のNHK横の 坂をのぼり、カトリック26聖人記念館のすぐ先) を訪問してください。そのレポートを提出すれば 加点します。なお長崎原爆資料館のレポートも加点になります。		
キーワード/Key word	戦争、暴力、平和、格差、原爆、原発、枯葉剤、劣化ウラン、有事体制、イラク戦争、構造的暴力 、死刑、テロ、集団的自衛権		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特定の教科書は用いないが、プリント資料を適宜配布し、またスライド、DVD、ビデオなどを利 用して、講義の理解を深めるのに役立てる。参考書は高橋。舟越編『ナガサキから平和学する』法 律文化社2009年、戸田清『核発電を問う』法律文化社2012年、など。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	受講要件は特にない。		
アクセシビリティ /Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、すべての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなる社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮などのサポートに ついては、担当教員またはアシスト広場 (障がい学生支援室) にご相談ください。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 電話095-819-2006、ファクス095-819-2948 電子メール support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)	<a href="http://todakiyosi.web.fc2.com/">http://todakiyosi.web.fc2.com/</a>		
学生へのメッセージ/Message for students	被爆地の大学に学ぶ学生として、書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて戦争、暴力、 平和をめぐる世界と日本の動向に関心をもってほしい。IS邦人人質事件などにも関心を。原爆資料 館だけでなく、岡まさはる記念長崎平和資料館も訪れてほしい。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1 6月6日5限	戸田 日本軍七三一部隊
2 6月6日6限	戸田 ナチスドイツのT4作戦
3 6月13日5限	国武雅子 戦争と性暴力
4 6月13日6限	国武 日本軍「慰安婦」問題
5 6月20日5限	国武 戦争と国民生活の統制
6 6月20日6限	国武 女性参政権運動と戦争協力
7 6月27日5限	山川剛 長崎原爆とその後
8 7月4日6限	戸田 米国のオバマとトランプの戦争
9 7月4日5限	山崎年子 二重被爆の父と生きる
10 7月4日6限	休講
11 7月11日5限	西岡由香 世界から見たナガサキ 90分間世界一周
12 7月11日6限	西岡 いのちを守るまちづくり
13 7月18日5限	篠崎正人 有事体制と長崎・佐世保1
14 7月18日6限	篠崎 有事体制と長崎・佐世保2
15 7月25日5限	富塚明 原発と核燃料サイクル
16 7月25日6限	富塚 核兵器廃絶運動、原爆症認定裁判 なお定期試験はありません

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/21		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180590090502	科目番号 / Subject code	05900905
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11261_001		
授業科目名 / Subject	平和講座 / On the Peace		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 関口 達夫 / Sekiguchi Tatsuo, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 富塚明 / Tomiduka Akira		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 関口 達夫 / Sekiguchi Tatsuo, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 富塚明 / Tomiduka Akira		
科目分類 / Class type	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Target students	全学部 1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環境科学部 4階環404戸田教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜午後4時から5時。在室ならいつでも可。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	長崎大学文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身勤労令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、その多くが爆死した。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚し」、国家再建の基礎を「人類普遍の原理」に求めて戦争を放棄し、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して安全と生存を保持しよう」と決意した。」1983年に始まった本講座は、その決意を受け継ぎ、平和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく、戦争・暴力・平和についての基礎的資料と基本的な分析理論を提供しようとするものである。		
授業到達目標/Course goals	戦争の実態、暴力と平和についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して自由と平等と平和を愛する文化国家の建設に努める態度を身につけることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	レポート100%。出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極性と担当講師が課したレポートの作成を総合的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業期間中の任意の日時に、岡まさはる記念長崎平和資料館(月曜休館、JR長崎駅前のNHK横の坂をのぼり、カトリック26聖人記念館のすぐ先)を訪ねてください。そのレポートを提出すれば加点します。なお長崎原爆資料館のレポートも加点になります。		
キーワード / Key word	戦争、暴力、平和、格差、原爆、原発、枯葉剤、劣化ウラン、有事体制、イラク戦争、構造的暴力、死刑、集団的自衛権、テロ		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特定の教科書は用いないが、プリント資料を適宜配布し、またスライド、ビデオ、DVDなどを利用して、講義の理解を深めるのに役立てる。参考書は高橋・舟越編『ナガサキから平和学する』法律文化社2009年、戸田清『核発電を問う』法律文化社2012年、など。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	受講要件は特になし。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、すべての学生が平等に教育を置ける機会を確保するため、修学の妨げとなりうる社会的障壁の除去および合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮などのサポートについては、担当教員またはCにご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 電話095-819-2006 ファクス09578192948 電子メール support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)	<a href="http://todakiyosi.web.fc2.com/">http://todakiyosi.web.fc2.com/</a>		
学生へのメッセージ / Message for students	被爆地の大学に学ぶ学生として、書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて戦争、暴力、平和をめぐる世界と日本の動向に関心をもってほしい。ISの人質事件などにも関心をもってほしい。長崎原爆資料館だけでなく、岡まさはる記念長崎平和資料館も訪れてほしい。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1 10月3日5限	戸田清 日本軍七三一部隊
2 10月3日6限	戸田 ナチスドイツのT4作戦
3 10月10日5限	富塚明 原発と核燃料サイクル
4 10月10日6限	戸田 公害事件としての原発事故
5 10月17日5限	国武雅子 戦争と性暴力
6 10月17日6限	国武 日本軍「慰安婦」問題
7 10月24日5限	国武 戦争と国民生活の統制
8 10月24日6限	国武 女性参政権運動と戦争協力
9 10月31日5限	川副忠子 長崎原爆と平和教育、核兵器廃絶運動
10 10月31日6限	戸田 米国のオバマとトランプの戦争
11 11月7日5限	山崎年子 二重被爆の父と生きる
12 11月7日6限	富塚明 核兵器廃絶運動、原爆症認定裁判
13 11月14日5限	富塚 日米関係を考える
14 11月14日6限	関口 長崎原爆を報道する
15 11月21日5限	関口 長崎原爆を報道する 集団的自衛権
16 11月21日6限	休講 定期試験は行いません。